

学校コード F113310103171
注3

設置年度 令和 2年度
計画の区分： 学部の学科の設置
注1

届出

注2
大正大学 社会共生学部 公共政策学科 (必要がある場合) ○○専攻

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人大正大学
令和5年5月1日現在

作成担当者

| | |
|----------|-----------------------------|
| 担当部局(課)名 | 経営企画部 |
| 職名・氏名 | カカリチョウ ヤマナカ ユキエ 係長・山中 雪江 |
| 電話番号 | 03-5394-3032 |
| (夜間) | 03-5394-3032 |
| e-mail | seisaku@mail.tais.ac.jp |

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「○○大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「○○大学」
- 学部の設置の場合：「○○大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「○○大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「○○短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「○○大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「○○大学大学院 ○○研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

社会共生物学部

| ＜公共政策学科＞ | ページ |
|-------------------|-----|
| 1. 調査対象大学等の概要等 | 1 |
| 2. 授業科目の概要 | 5 |
| 3. 施設・設備の整備状況、経費 | 15 |
| 4. 既設大学等の状況 | 16 |
| 5. 教員組織の状況 | 17 |
| 6. 附帯事項等に対する履行状況等 | 42 |
| 7. その他全般的事項 | 44 |

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人大正大学

(2) 大学名

大正大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒170-8470

東京都豊島区西巣鴨3丁目20番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

| 職名 | 設置時 | 変更状況 | 備考 |
|------|------------------------------------|------|----|
| 理事長 | (オカモト センジョウ) 岡本 宣丈 (平成30年3月) | | |
| 学長 | (タカハシ シュウユウ) 高橋 秀裕 (令和元年11月) | | |
| 学部長 | (タカハシ マサヒロ) 高橋 正弘 (令和2年4月) | | |
| 学科長等 | (ウカワ コウ) 鶴川 晃 (令和2年4月) | | |

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)
令和5年度に報告する内容 → (5)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和5年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

| 調査対象学部等の名称（学位） | 学位又は学科の分野 | 設置時の計画 | | | | 学生募集の停止について | 備考 |
|------------------------------|----------------------|--------|------|-------------------------------------|------|-------------|----|
| | | 修業年限 | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員 | | |
| 社会共生学部 公共政策学科 学士（公共政策） | 社会学・社会福祉学関係 経済学関係 | 4年 | 130人 | 2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人 | 520人 | | |

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

| 区分 | 平成30年度 | | 令和元年度 | | 令和2年度 | | 令和3年度 | | 令和4年度 | | 令和5年度 | | 平均入学定員超過率 | 平均入学定員超過率（控除後） | 収容定員充足率 | 収容定員充足率（控除後） | 備考 |
|-------------|------------|------------|------------|------------|-----------------------|------------|-----------------------|------------|-----------------------|------------|-----------------------|------------|-----------|----------------|---------|--------------|----|
| | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | | | | | |
| A 入学定員 | () [] | () [] | () [] | () [] | 130 (-) [-] | () [] | 130 (-) [-] | () [] | 130 (-) [-] | () [] | () [] | () [] | 0.90倍 | 一倍 | 0.88倍 | 一倍 | |
| 志願者数 | () [] | () [] | () [] | () [] | 990 (-) [-] | () [] | 898 (-) [-] | () [] | 563 (-) [-] | () [] | 699 (-) [-] | () [] | | | | | |
| 受験者数 | () [] | () [] | () [] | () [] | 948 (-) [-] | () [] | 855 (-) [-] | () [] | 539 (-) [-] | () [] | 653 (-) [-] | () [] | | | | | |
| 合格者数 | () [] | () [] | () [] | () [] | 361 (-) [-] | () [] | 469 (-) [-] | () [] | 512 (-) [-] | () [] | 536 (-) [-] | () [] | | | | | |
| B 入学者数 | () [] | () [] | () [] | () [] | 127 (-) [-] | () [] | 106 (-) [-] | () [] | 103 (-) [-] | () [] | 140 (-) [-] | () [] | | | | | |
| 入学定員超過率 B/A | | | | | 0.97 | | | 0.81 | | | 0.79 | | | 1.07 | | | |

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ （ ）内には、**編入学の状況について外数で記入**してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ **編入学生は記入しないでください。**
- ・ []内には、**留学生の状況について内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入**してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。**計算の際は「入学定員超過率」と同様**にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率（控除後）」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により**修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」**を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

| 対象年度 学 年 | 平成30年度 | | 令和元年度 | | 令和2年度 | | 令和3年度 | | 令和4年度 | | 令和5年度 | | 備 考 |
|-------------|------------|------------|------------|------------|----------------|----------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|------------------------------|
| | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | |
| 1年次 | [] () | [] () | [] () | [] () | 125 (-) | — (-) | 102 (-) | — (-) | 103 (-) | — (-) | 146 (6) | [-] () | 令和5年度4年次留年者2名 人間学部教育人間学科より転籍 |
| 2年次 | / | | [] () | [] () | — (-) | — (-) | 124 (-) | — (-) | 104 (2) | — (-) | 100 (6) | [-] () | |
| 3年次 | | | / | | [] (-) | [] (-) | — (-) | — (-) | — (-) | 122 (-) | — (-) | 96 (2) | |
| 4年次 | / | | | | [] (-) | [] (-) | — (-) | — (-) | — (-) | — (-) | 120 (2) | [-] () | |
| 計 | | | [] () | [] () | [-] (-) | [-] (-) | 125 (-) | 226 (-) | 329 (2) | 462 (16) | [-] () | | |

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

| 区分 対象年度 | 在学者数(b) | 退学者数(a) | 内訳 | | | 主な退学理由 (留学生の理由は[]書き) |
|------------|---------|---------|--------|--------|-----|---|
| | | | 入学した年度 | 退学者数 | | |
| | | | | うち留学生数 | | |
| 平成30年度 | — 人 | — 人 | 平成30年度 | — 人 | — 人 | |
| 令和元年度 | — 人 | — 人 | 平成30年度 | — 人 | — 人 | |
| | | | 令和元年度 | — 人 | — 人 | |
| 令和2年度 | 127 人 | 2 人 | 平成30年度 | — 人 | — 人 | |
| | | | 令和元年度 | — 人 | — 人 | |
| | | | 令和2年度 | 2 人 | — 人 | 進路変更(1人)、修学意欲の減退(1人) |
| 令和3年度 | 231 人 | 5 人 | 平成30年度 | — 人 | — 人 | |
| | | | 令和元年度 | — 人 | — 人 | |
| | | | 令和2年度 | 1 人 | — 人 | 他の教育期間への入学・転学(1人) |
| | | | 令和3年度 | 4 人 | — 人 | 他の教育期間への入学・転学(4人) |
| 令和4年度 | 329 人 | 9 人 | 平成30年度 | — 人 | — 人 | |
| | | | 令和元年度 | — 人 | — 人 | |
| | | | 令和2年度 | 4 人 | — 人 | 修学意欲の減退(1人)、学力不足(1人)、経済的困窮(1名)、就職・起業等(1名) |
| | | | 令和3年度 | 2 人 | — 人 | 修学意欲の減退(1人)、他の教育期間への入学・転学(1人) |
| | | | 令和4年度 | 3 人 | — 人 | 経済的困窮(2名)、他の教育期間への入学・転学(1人) |
| 令和5年度 | 462 人 | — 人 | 平成30年度 | — 人 | — 人 | |
| | | | 令和元年度 | — 人 | — 人 | |
| | | | 令和2年度 | — 人 | — 人 | |
| | | | 令和3年度 | — 人 | — 人 | |
| | | | 令和4年度 | — 人 | — 人 | |
| | | | 令和5年度 | — 人 | — 人 | |
| 合計 | | 16 人 | | 16 人 | 0 人 | |

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{127} = \boxed{1.57} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{231} = \boxed{2.16} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{9}{329} = \boxed{2.73} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{462} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

【令和4年度】

Table for Heisei 44 (令和4年度) showing subject categories, subject names, and staff allocation. Includes sections for 第I類科目, 第II類科目, and 領域基礎部門.

【令和3年度】

Table for Heisei 33 (令和3年度) showing subject categories, subject names, and staff allocation. Includes sections for 第I類科目, 第II類科目, and 領域基礎部門.

【令和5年度】

＜科目の追加＞

- ・高学年次での履修を前提に全学共通科目（第三類科目）を取り入れることとなったため、「超スマート社会論」、「新共生社会論」、「地域人イズム論」「アントレプレナーシップ論」の追加。

＜科目名称＞

- ・人間の探究Ⅰ～Ⅲの授業テーマ「学び方とりべラールアーツ」を「リベラルアーツを考える」に科目名変更
- ・社会の探究Ⅰ～Ⅲの授業テーマ「社会の課題解決」を「社会の課題を見いだす」に科目名変更

＜専任教員等の配置＞

- ・教員変更の理由により、「人間の探究Ⅰ～Ⅲ（哲学する人間）」の専任教員の配置を「兼任・兼担4」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・教員変更の理由により、「人間の探究Ⅰ～Ⅲ（リベラルアーツを考える）」の専任教員の配置を「兼任・兼担3」から「兼任・兼担4」に変更。
- ・教員変更の理由により、「社会の探究Ⅰ～Ⅲ（近代を問い直す）」の専任教員の配置を「兼任・兼担4」から「兼任・兼担5」に変更。
- ・教員変更の理由により、「自然の探究Ⅰ～Ⅲ（グリーンインフラ）」の専任教員の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担4」に変更。
- ・教員変更の理由により、「自然の探究Ⅰ～Ⅲ（健康・医療・福祉）」の専任教員の配置を「兼任・兼担5」から「兼任・兼担7」に変更。
- ・教員変更の理由により、「データサイエンスⅠ～Ⅲ」の専任教員の配置を「兼任・兼担16」から「兼任・兼担15」に変更。
- ・教員変更の理由により、「データサイエンスⅣ～Ⅵ」の専任教員の配置を「兼任・兼担3」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・教員変更の理由により、「リサーチⅡ・Ⅲ」の専任教員の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・教員変更の理由により、「総合英語Ⅰ～Ⅲ」の専任教員の配置を「兼任・兼担23」から「兼任・兼担22」に変更。
- ・教員変更の理由により、「学際セミナーⅠ」の専任教員の配置を「教授9」から「教授4」、「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・教員変更の理由により、「学際セミナーⅡ」の専任教員の配置を「教授9」から「教授3」に変更。
- ・小計の兼任・兼担教員を「5」から「10」へ変更。
- ・教員の身分変更の理由により、「社会学概論」の専任教員の配置を「教授1」から「教授0」、兼任・兼担教員の配置を「0」から「1」へ変更。
- ・教員変更の理由により、「経済学概論」の兼任・兼担教員の配置を「2」から「1」へ変更。
- ・教員変更の理由により、「公共政策のための情報学」の専任教員の配置を「教授1」から「教授0」、兼任・兼担教員の配置を「0」から「1」へ変更。
- ・教員変更の理由により、「公共政策の基礎C（実践論）」の専任教員の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・教員変更の理由により、「基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ」の専任教員の配置を「教授5」から「教授3」、「准教授0」から「准教授1」に変更。また兼任・兼担教員の配置を「0」から「1」へ変更。
- ・教員変更の理由により、「基礎ゼミナールⅢ」の専任教員の配置を「教授4」から「教授3」、「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・教員変更の理由により、「課題研究ゼミナールⅠ」の専任教員の配置を「准教授0」から「准教授1」、「専任講師0」から「専任講師1」に変更。
- ・教員変更の理由により、「課題研究ゼミナールⅡ」の専任教員の配置を「教授3」から「教授4」、「准教授2」から「准教授0」、「専任講師0」から「専任講師1」に変更。
- ・教員変更の理由により、「課題研究ゼミナールⅢ」の専任教員の配置を「教授9」から「教授7」、「専任講師0」を「専任講師1」に変更。
- ・小計の専任教員の配置を「教授9」から「教授10」、兼任・兼担教員を「0」から「1」へ変更。
- ・教員変更の理由により、「スポーツ概論」の専任教員の配置を「教授1」から「教授0」、兼任・兼担教員を「0」から「1」へ変更。
- ・教員変更の理由により、「スポーツ政策論」の専任教員の配置を「准教授0」から「准教授1」、「兼任・兼担1」を「兼任・兼担0」に変更。
- ・教員変更の理由により、「フィールドワークⅠ」の専任教員の配置を「教授2」から「教授4」に変更。
- ・教員変更の理由により、「フィールドワークⅡ」の専任教員の配置を「教授8」から「教授7」、「専任講師0」から「専任講師1」に変更。
- ・教員変更の理由により、「フィールドワークⅢ」の専任教員の配置を「教授8」から「教授7」、「専任講師0」から「専任講師1」に変更。
- ・小計の専任教員の配置を「教授11」から「教授9」、准教授を「0」から「1」へ変更。
- ・教員変更の理由により、「産業研究」の専任教員の配置を「教授9」から「教授7」、「准教授1」から「教授0」に変更
- ・小計の専任教員の配置を「教授9」から「教授7」、「准教授1」から「教授0」に変更。

＜必修科目の変更＞

- ・「課題研究ゼミナールⅠ～Ⅲ」「専門ゼミナールⅠ～Ⅲ」「社会学概論」、「経済学概論」、「社会統計学」、「社会調査法」を必修科目から選択科目へ変更

＜配当年次＞

- ・「社会学概論」、「公共政策のための情報学」、「文化政策基礎論」、「地域人材育成論」、「文化資源論」、「地球環境論」、「脱炭素社会論」、「観光まちづくり論」、「海外フィールドワーク」の配当年次・クォーターを変更

- (注) ・ 2（1）① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新担科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開講であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

| 設置時の計画 | | | | 変更状況 | | | | 備考 |
|----------|----------|---------|-----------|---------------------|---------------------|------------------|---------------------|----|
| 必修 | 選択 | 自由 | 計 (A) | 必修 | 選択 | 自由 | 計 | |
| 30 科目 | 95 科目 | 1 科目 | 126 科目 | 19 科目 [Δ11] | 121 科目 [26] | 1 科目 [—] | 141 科目 [15] | |

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

| 番号 | 授業科目名 | 単位数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 未開講の理由、代替措置の有無 |
|----|-------------|-----|--------|-------|-------|------------------------|
| 1 | 公共政策のための財政学 | 2 | 2・3④ | 専門 | 選択 | 隔年開講により次年度開講予定 |
| 2 | 教育政策基礎論 | 2 | 2・3② | 専門 | 選択 | 隔年開講により次年度開講予定 |
| 3 | 専門ゼミナールⅣ | 1 | 4① | 専門 | 選択 | 令和3年度入学生以降の対象科目のため |
| 4 | 専門ゼミナールⅤ | 1 | 4② | 専門 | 選択 | 令和3年度入学生以降の対象科目のため |
| 5 | 専門ゼミナールⅥ | 1 | 4④ | 専門 | 選択 | 令和3年度入学生以降の対象科目のため |
| 6 | スポーツ振興論 | 2 | 2・3・4④ | 専門 | 選択 | 教員の退職により閉講。次年度開講を予定 |
| 7 | 観光資源論 | 2 | 2・3・4① | 専門 | 選択 | 隔年開講により次年度開講予定 |
| 8 | スポーツツーリズム論 | 2 | 2・3・4④ | 専門 | 選択 | 第Ⅲ類科目「スポーツツーリズム」として開講。 |

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

| 番号 | 授業科目名 | 単位数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 廃止の理由、代替措置の有無 |
|----|-------------------|-----|------|-------|-------|-------------------|
| 1 | 学融合の実践学Ⅰ(解決力と決断力) | 2 | 3④ | 一般 | 必修 | 第Ⅰ類科目の位置づけ変更に伴う削除 |
| 2 | 学融合の実践学Ⅱ(解決力と決断力) | 2 | 4① | 一般 | 必修 | 第Ⅰ類科目の位置づけ変更に伴う削除 |
| 3 | 学融合の実践学Ⅲ(解決力と決断力) | 2 | 4② | 一般 | 必修 | 第Ⅰ類科目の位置づけ変更に伴う削除 |
| 4 | コミュニケーションⅠ | 1 | 3① | 一般 | 必修 | 第Ⅰ類科目の位置づけ変更に伴う削除 |
| 5 | コミュニケーションⅡ | 1 | 3② | 一般 | 必修 | 第Ⅰ類科目の位置づけ変更に伴う削除 |
| 6 | コミュニケーションⅢ | 1 | 3④ | 一般 | 必修 | 第Ⅰ類科目の位置づけ変更に伴う削除 |
| 7 | 中国語Ⅰ | 1 | 1① | 一般 | 選択 | 第Ⅰ類科目の位置づけ変更に伴う削除 |
| 8 | 中国語Ⅱ | 1 | 1② | 一般 | 選択 | 第Ⅰ類科目の位置づけ変更に伴う削除 |
| 9 | 中国語Ⅲ | 1 | 1④ | 一般 | 選択 | 第Ⅰ類科目の位置づけ変更に伴う削除 |
| 10 | フランス語Ⅰ | 1 | 1① | 一般 | 選択 | 第Ⅰ類科目の位置づけ変更に伴う削除 |
| 11 | フランス語Ⅱ | 1 | 1② | 一般 | 選択 | 第Ⅰ類科目の位置づけ変更に伴う削除 |
| 12 | フランス語Ⅲ | 1 | 1④ | 一般 | 選択 | 第Ⅰ類科目の位置づけ変更に伴う削除 |

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

| |
|----------------------------------|
| 令和3年度以降入学者を対象とし、学科ガイダンス時に説明を行った。 |
|----------------------------------|

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（3）と廃止科目（4）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{20}{126} = \boxed{15.87} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

| 区 分 | | 内 容 | | | | 備考 | | | |
|-----------------------------------|---------------------|--|--|--------------------------|---|---|-----------|---|-----------------|
| (1) 校 地 等 | 区 分 | 専 用 | 共 用 | 共用する他の 学校等の専用 | 計 | 校舎敷地のうち、 21,135.55㎡は(学)佛 教教育学園から貸与 [貸与期間]H28.4から 20年間 | | | |
| | 校 舎 敷 地 | 37,475.84㎡ | 0㎡ | 0㎡ | 37,475.84㎡ | | | | |
| | 運 動 場 用 地 | 31,429.00㎡ | 0㎡ | 0㎡ | 31,429.00㎡ | | | | |
| | 小 計 | 68,904.84㎡ | 0㎡ | 0㎡ | 68,904.84㎡ | | | | |
| | そ の 他 | 5,035.94㎡ | 0㎡ | 0㎡ | 5,035.94㎡ | | | | |
| | 合 計 | 73,940.78㎡ | 0㎡ | 0㎡ | 73,940.78㎡ | | | | |
| (2) 校 舎 | 専 用 | 50,716㎡ 59,479.93㎡ (50,324㎡) (59,479.93㎡) | 0㎡ | 0㎡ | 50,716㎡ 59,479.93㎡ (50,324㎡) (59,479.93㎡) | 大学全体 建物新設 (3) | | | |
| | (0 ㎡) | (0 ㎡) | (0 ㎡) | (0 ㎡) | | | | | |
| (3) 教 室 等 | 講 義 室 | 77室 82室 81室 | 51室 | 18室 | 4室 0室 (補助職員 10人) | 建物新設 (3) 用途変更に伴う減 (5) | | | |
| | 演 習 室 | | | | (補助職員 0人) | | | | |
| (4) 専任教員研究室 | 新設学部等の名称 | | 室 数 | | | 教員退職に伴い減 (5) | | | |
| | 社会共生学部 公共政策学科 | | 15 14 室 | | | | | | |
| | 社会共生学部 社会福祉学科 | | 9 室 | | | | | | |
| (5) 図 書 ・ 設 備 | 新設学部等の 名称 | 図 書 〔うち外国書〕 | 学術雑誌 〔うち外国書〕 | 電子ジャーナル 〔うち外国書〕 | 視聴覚資料 点 | 機械・器具 点 | 標 本 点 | 電子ジャーナル利用状況 について調査し、過去も 含め利用の少ない電子 ジャーナル(文学、科 学、宗教学)などを利用 停止とした。 今後、必要なデータベ ースを改めて検討し契約す る計画である。(4) | |
| | | 冊 | 種 | 〔うち外国書〕 | | | | | |
| | | 社会共生学部 公共政策学科 | 47,266 [5,588] (45,992 [5,528]) (46,619 [5,559]) 46,690 [5,559] | 696 [101] (696 [101]) | 62 [54] (62 [54]) (26 [26]) (18 [18]) | 17,335 (17,333) | 0 (0) | | 0 (0) |
| | | 社会共生学部 社会福祉学科 | 17,374 [1,789] (16,709 [1,732]) (16,995 [1,996]) 17,152 [2,000] | 281 [47] (281 [47]) | 62 [54] (62 [54]) (26 [26]) (18 [18]) | 17,335 (17,333) | 0 (0) | | 0 (0) |
| | | 計 | 64,640 [7,377] (61,736 [7,260]) (63,614 [7,555]) (63,842 [7,559]) | 977 [148] (977 [148]) | 62 [54] (62 [54]) (26 [26]) (18 [18]) | 17,335 (17,333) | 0 (0) | | 0 (0) |
| (6) 図 書 館 | 面 積 | | 閱 覧 座 席 数 | | 収 納 可 能 冊 数 | | 図書館新設 (3) | | |
| | 5,656㎡ 9,136.30㎡ | | 428 500 | | 688,167 809,998 | | | | |
| (7) 体 育 館 | 面 積 | | 体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要 | | | | | | |
| | 1,313 ㎡ | | 野球場・テニスコート 等 | | | | | | |
| (8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要 | 経 費 の 見 積 り | 区 分 | 開設年度 | 完成年度 | 区 分 | 開設前年度 | 開設年度 | 完成年度 | 共同研究費等は 大学全体 |
| | | 教員1人当たり研究費等 | 400千円 | 400千円 | 図書購入費 | 5,000千円 | 3,000千円 | 3,000千円 | |
| | | 共同研究費等 | 11,000千円 | 11,000千円 | 設備購入費 | - | - | - | |
| | 学生1人当 り納付金 | 第1年次 | 第2年次 | 第3年次 | 第4年次 | 第5年次 | 第6年次 | | |
| | 学生納付金以外の維持方法の概要 | 1,450千円 | 1,250千円 | 1,250千円 | 1,250千円 | 千円 | 千円 | | |
| | | 私立大学等経常費補助金、寄付金(設立宗派・同窓会・寺院関係者)、手数料(入学検定料等)、資産運用収入 等 | | | | | | | |

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

| 大学の名称 | 大正大学 | | | | | | | | | | 平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数 | 0 | 平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数 | 1 | 収容定員充足率0.7倍以下の学科数 | 0 | 収容定員充足率1.15倍以上の学科数 | 1 |
|---------------|------|------|------------------|------|-----------|-----------|----------------|---------|--------------|-------------------|---------------------|-----|----------------------|--|-------------------|---|--------------------|---|
| 既設学部等の名称 | 修業年限 | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員 | 学位又は称号 | 平均入学定員超過率 | 平均入学定員超過率(控除後) | 収容定員充足率 | 収容定員充足率(控除後) | 定員変更年度(AC期間の学科のみ) | 開設年度 | 所在地 | 備考 | | | | | |
| | 年 | 人 | 年次人 | 人 | | 倍 | 倍 | 倍 | 倍 | 年度 | 年度 | | | | | | | |
| 仏教学部 | 4 | 100 | 33 | 466 | | 0.98 | - | 0.92 | - | | 平成22 | | ※令和4年度より編入学定員増加 | | | | | |
| 仏教学科 | 4 | 100 | 33 | 466 | 学士(仏教学) | 0.98 | - | 0.92 | - | | 平成22 | | | | | | | |
| <u>社会共生学部</u> | 4 | 195 | 3年次 ₂ | 784 | | 0.94 | - | 0.90 | - | | 令和2 | | | | | | | |
| <u>公共政策学科</u> | 4 | 130 | - | 520 | 学士(公共政策学) | 0.91 | - | 0.89 | - | | 令和2 | | | | | | | |
| <u>社会福祉学科</u> | 4 | 65 | 2 | 264 | 学士(社会福祉学) | 0.97 | - | 0.93 | - | | 令和2 | | | | | | | |
| 人間学部 | 4 | - | 3年次 ₋ | - | | - | - | - | - | | 平成5 | | | ※令和2年度より学生募集停止 (社会福祉学科、人間環境学科、 教育人間学科) | | | | |
| 社会福祉学科 | 4 | - | - | - | 学士(社会福祉学) | - | - | - | - | | 平成5 | | | | | | | |
| 人間環境学科 | 4 | - | - | - | 学士(人間環境学) | - | - | - | - | | 平成23 | | | | | | | |
| 教育人間学科 | 4 | - | - | - | 学士(教育人間学) | - | - | - | - | | 平成23 | | | | | | | |
| 心理社会学部 | 4 | 230 | 3年次 ₄ | 928 | | 1.15 | - | 1.16 | - | | 平成28 | | | | | | | |
| 人間科学科 | 4 | 120 | 2 | 484 | 学士(人間科学) | 1.06 | - | 1.07 | - | | 平成28 | | | | | | | |
| 臨床心理学科 | 4 | 110 | 2 | 444 | 学士(臨床心理学) | 1.23 | - | 1.26 | - | | 平成28 | | | | | | | |
| 文学部 | 4 | 295 | 3年次 ₆ | 1192 | | 1.11 | - | 1.09 | - | | 平成15 | | | | | | | |
| 人文学科 | 4 | 65 | 2 | 265 | 学士(人文学) | 1.12 | - | 1.13 | - | | 平成22 | | | | | | | |
| 日本文学科 | 4 | 70 | 2 | 282 | 学士(日本文学) | 1.14 | - | 1.14 | - | | 平成27 | | | | | | | |
| 歴史学科 | 4 | 160 | 2 | 645 | 学士(歴史学) | 1.06 | - | 1.06 | - | | 平成15 | | | | | | | |
| 表現学部 | 4 | 205 | 3年次 ₋ | 820 | | 1.11 | - | 1.12 | - | | 平成22 | | | | | | | |
| 表現文化学科 | 4 | 205 | - | 820 | 学士(表現文化) | 1.11 | - | 1.12 | - | | 平成22 | | | | | | | |
| 地域創生学部 | 4 | 100 | 3年次 ₋ | 400 | | 0.96 | - | 0.99 | - | | 平成28 | | | | | | | |
| 地域創生学科 | 4 | 100 | - | 400 | 学士(経済学) | 0.96 | - | 0.99 | - | | 平成28 | | | | | | | |

6 附帯事項等に対する履行状況等

| 区 分 | 附 帯 事 項 等 | 履 行 状 況 | 今後の の実施計画 |
|--------------------------------|---|--------------|--------------|
| 認 可 時 (令和元年) | 完成年度前に、定年規程の定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。 | 【認可】 遵守事項 | 履行中 |
| 設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和2年度) | 該当なし | | |
| 設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和3年度) | 該当なし | | |
| 設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年度) | 該当なし | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<社会共生物学部 公共政策学科>

(1) 設置計画変更事項等

| 設置時の計画 | 変更内容・状況、今後の見通しなど |
|---|---|
| <p>① 修了要件単位数 第Ⅰ類科目36単位、第Ⅱ類88単位必修、計124単位以上修得すること。（履修科目の登録の上限：10単位（1クォーター））</p> | <p>① 「令和2年度知識集約型社会を支える人材育成事業」の採択に伴い、高学年次での履修を前提に全学共通科目（第Ⅲ類科目）を取り入れることとなったため、第Ⅰ類科目は30単位、第Ⅱ類科目は70単位、第Ⅲ類科目は24単位を修得することへ変更となった。</p> |

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

| |
|--|
| <p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>(1) 総合学修支援機構DAC</p> <p>(2) 障がい学生支援部会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>(1)FD委員会 開催日： 令和4年 4/13,4/28,5/11,5/31,6/9,6/21,7/20,8/29,9/29,10/19,11/11,12/8 令和5年 2/14,2/27,3/20</p> <p>(2) 障がい学生支援部会 実施日： 第1回 令和4年4月13日（水） 出席者数：12名 第2回 令和4年5月18日（水） 出席者数：12名 第3回 令和4年6月15日（水） 出席者数：11名 第4回 令和4年7月6日（水） 出席者数：12名 第5回 令和4年9月7日（水） 出席者数：12名 第6回 令和4年10月5日（水） 出席者数：12名 第7回 令和4年11月2日（水） 出席者数：12名 第8回 令和4年12月14日（水） 出席者数：12名 第9回 令和5年1月11日（水） 出席者数：12名 第10回 令和5年2月8日（水） 出席者数：12名 第11回 令和5年3月8日（水） 出席者数：12名</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>(1) 教育改善のためのファカルティ・ディベロップメント（FD）の推進</p> <p>(2) 障がいを有する学生の支援に関する事項</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>(1) 1. 第13回全学FDセミナー「理論×実践のハイブリッド教育とは」 2. 第14回全学FDセミナー「進路を見据えた学生記録の蓄積と支援 -LMSの有機的活用を通して-」 3. カリキュラムアセスメントチェックリストを活用した評価報告会 4. 役職者研修 5. 授業実践研修 6. 新任教員FDプログラム（授業設計・教授法、教学マネジメント・学修支援体制、研究支援等）</p> <p>(2) 障がい学生支援部会 講演会</p> |
|--|

b 実施方法

- (1)
 1. 対面（グループワーク）
 2. 対面（グループワーク）
 3. 対面（グループワーク）
 4. 対面
 5. オンデマンド及び対面（グループワーク）
 6. オンデマンド・対面による外部講師の講演・ワークショップの他、大学執行部・各種支援担当部署からのレクチャー
- (2) 対面、録画配信

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- (1)
 1. 第13回全学FDセミナー「理論×実践のハイブリッド教育とは」
令和4年6月29日（水）15:00～17:30 141名
 2. 第14回全学セミナー「進路を見据えた学生記録の蓄積と支援 -LMSの有機的活用を通して-」
令和4年11月23日（水）15:00～17:30 132名
※欠席者はオンデマンド視聴
 3. カリキュラムアセスメントチェックリストを活用した評価報告会
令和4年5月18日（水）16:00～17:10 49名
 4. 役職者研修
令和4年6月8日（水）15:50～16:30 42名
 5. 授業実践研修
令和4年8月24日（水）13:30～15:10 12名
 6. 新任教員FDプログラム 対象者：13名
 - ・「新任教員事前FD研修会」（対面）
令和4年3月24日（木）10:00～17:30/3月25日（金）10:00～16:15
 - ・「授業支援・学修支援に関する研修」（対面）
令和4年4月20日（水）15:10～16:50
 - ・「大正学生の特徴に関する研修」（オンデマンド）
令和4年4月20日（水）配信
 - ・「授業見学」（対面）
令和4年4月7日（木）～令和4年7月25日（月）
 - ・「障がい学生支援・教学マネジメントに関する研修」（オンデマンド）
令和4年4月29日（金）配信
 - ・「入試・学生募集に関する研修」（オンデマンド）
令和4年6月21日（火）配信
 - ・「知識集約型を支える人材育成事業に関する研修」（オンデマンド）
令和4年10月18日（火）配信
 - ・「就職活動支援に関する研修」（オンデマンド）
令和4年12月7日（水）配信
 - ・「研究倫理に関する研修」（オンデマンド）
令和5年3月14日（火）配信
 - ・「最終研修」（対面）
令和5年3月2日（木）12:30～17:05
- (2) 障がい学生支援部会 講演会
令和4年9月14日（水）10:00～12:00
参加人数：対面42名、オンライン67名 合計109名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- (1) 本学の建学の理念を、自身の授業および学科の学びと具体的に結び付け、学科の教育の特徴について各教員が共通認識し、授業運営の検討をおこなった。また、学生の希望進路を実現するためのLMSを活用した学修支援について検討をおこなった。

- (2) 全教職員より参加者を募り、講演会を開催した。

講演会では障害者差別解消法における「合理的配慮」をテーマとして、障害種別ごとの対応事例も交えながら、教育上の注意点と建設的対話の必要性について検討した。
また、講演会の中で、障害とは社会的障壁であり、それを取り除くための「合理的配慮」とは、障害のない者との比較において同等の機会を提供すること、事務や事業の目的・内容・機能の本質的な変更には及ばないということ等が共有され、講演会後に実施したアンケートでも多くの新しい気づきや業務改善につながるというコメントがあった。
上記が授業改善・学生生活改善のための対応指針の策定に繋がると見ている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

本学における学生による授業評価アンケートは、組織的なFD活動の一環として実施。
このアンケートは PDCAサイクルのCheck部分にあたり、授業毎の具体的な効果や問題点を把握し、教育改善に役立てていくことを目的とする。

（実施期間）

- 第1クォーター：2022年5月19日（木）～6月1日（水）
- 第2クォーター/春学期：2022年7月12日（火）～7月25日（月）
- 第3クォーター：2022年10月31日（月）～11月12日（土）
- 第4クォーター/秋学期：2023年1月7日（土）～1月23日（月）

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート用回答サイトの作成作業および回答データの集計を委託事業者が行う。集計結果は教員配付用資料として、委託事業者より各教員へ郵送するとともに、冊子にまとめて教員に配信している。

授業評価アンケート検討会において実際の教育活動に資する具体的なフィードバック方法の検討や、次年度実施に向けての改善点に関する検討が行われている。

学生をはじめとした社会への公開については、本アンケートの趣旨、実施要項、調査票を明示したうえ、ホームページにおいて集計結果を公表している。なお、学生には、学習ポータルサイト（T-po）における周知・連絡も実施している。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

該当なし

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

人間学部の改組を行い、社会共生物学部を設置する。大学の理念・目的に照らしながら、人間学部において設定していた目的や養成する人材像を、昨今の社会構造の変化や求めに則した目的に刷新し、社会共生の理念の下で社会や地域が抱える諸課題を解決に導く人材を育成する予定である。社会共生物学部は、社会や地域におけるさまざまな公共的課題を解決するための方法や技術を学ぶ公共政策学科と、医療・福祉・教育など幅広い分野で支援を必要としている人の相談・援助を行うソーシャルワーカー（社会福祉士、精神保健福祉士）を養成する社会福祉学科の2学科として、上記理念を踏まえた募集活動を行い、公共政策学科は127名の学生を受け入れた。本学科が目指す人材育成像と教育目標が、受験生に評価された結果であると考えている。今後は、届出時の教育内容を確実に履行し、上記の設置の趣旨・目的の達成を目指す。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和2年3月26日 公表

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公表 (<https://www.tais.ac.jp/common/doc/guide/estimation/jikotenken-2019.pdf>)。
- ・大学自己点検・評価委員会及びメールによる事務連絡（全教職員対象）において公表を周知。

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和2年に評価機関（大学基準協会）の評価を受審し、令和2年3月27日に評価資料を提出した。
- ・令和9年に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

- a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

- b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

- c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

- d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

学校コード F113310103171

注3

設置年度 令和 2年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

大正大学 社会共生学部 社会福祉学科 (必要がある場合) ○○専攻

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人大正大学
令和5年5月1日現在

作成担当者

| | |
|----------|-------------------------|
| 担当部局(課)名 | 経営企画部 |
| 職名・氏名 | カイン フジクラツシ 課員・藤倉 惇志 |
| 電話番号 | 03-5394-3032 |
| (夜間) | 03-5394-3032 |
| e-mail | seisaku@mail.tais.ac.jp |

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「○○大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「○○大学」
- 学部の設置の場合：「○○大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「○○大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「○○短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「○○大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「○○大学大学院 ○○研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

社会共生物学部

| ＜社会福祉学科＞ | ページ |
|-------------------|-----|
| 1. 調査対象大学等の概要等 | 1 |
| 2. 授業科目の概要 | 6 |
| 3. 施設・設備の整備状況、経費 | 20 |
| 4. 既設大学等の状況 | 21 |
| 5. 教員組織の状況 | 23 |
| 6. 附帯事項等に対する履行状況等 | 53 |
| 7. その他全般的事項 | 55 |

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人大正大学

(2) 大学名

大正大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒170-8470

東京都豊島区西巣鴨3丁目20番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

| 職名 | 設置時 | 変更状況 | 備考 |
|------|------------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
| 理事長 | (オカモト センジョウ) 岡本 宣丈 (平成30年3月) | | |
| 学長 | (タカハシ シュウユウ) 高橋 秀裕 (令和元年11月) | | |
| 学部長 | (タカハシ マサヒロ) 高橋 正弘 (令和2年4月) | | |
| 学科長等 | (カミヤマ ヒロミ) 神山 裕美 (令和2年4月) | (シンボ ユウコウ) 新保 祐光 (令和4年4月) | 前任者の任期満了に伴い 令和4年4月1日就任 (4) |

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)
令和5年度に報告する内容 → (5)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和5年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

| 調査対象学部等の名称（学位） | 学位又は学科の分野 | 設置時の計画 | | | | 学生募集の停止について | 備考 |
|-------------------------------|-------------|--------|------|-------------------------------------|------|-------------|----|
| | | 修業年限 | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員 | | |
| 社会共生学部 社会福祉学科 学士（社会福祉学） | 社会学・社会福祉学関係 | 4年 | 65人 | 2年次 0人 3年次 2人 4年次 0人 | 264人 | | |

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

| 区分 | 平成30年度 | | 令和元年度 | | 令和2年度 | | 令和3年度 | | 令和4年度 | | 令和5年度 | | 平均入学定員超過率 | 平均入学定員超過率（控除後） | 収容定員充足率 | 収容定員充足率（控除後） | 備考 |
|-------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------------|---------------------|-----------------------|---------------------|-----------------------|---------------------|-----------------------|---------------------|-----------|----------------|---------|--------------|----|
| | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | | | | | |
| A 入学定員 | 人 () [] | 人 () [] | 人 () [] | 人 () [] | 65 (-) [-] | 人 (-) [-] | 65 (-) [-] | 人 (-) [-] | 65 (2) [-] | 人 (-) [-] | 65 (2) [-] | 人 (-) [-] | 0.98倍 | 倍 | 0.98倍 | 倍 | |
| 志願者数 | () [] | () [] | () [] | () [] | 494 (-) [2] | - (-) [-] | 525 (-) [5] | - (-) [-] | 302 (-) [-] | - (-) [-] | 331 (-) [-] | (-) [-] | | | | | |
| 受験者数 | () [] | () [] | () [] | () [] | 467 (-) [2] | - (-) [-] | 507 (-) [5] | - (-) [-] | 285 (-) [-] | - (-) [-] | 297 (-) [-] | (-) [-] | | | | | |
| 合格者数 | () [] | () [] | () [] | () [] | 201 (-) [1] | - (-) [-] | 200 (-) [2] | - (-) [-] | 264 (-) [-] | - (-) [-] | 224 (-) [-] | (-) [-] | | | | | |
| B 入学者数 | () [] | () [] | () [] | () [] | 71 (-) [1] | - (-) [-] | 62 (-) [1] | - (-) [-] | 60 (-) [-] | - (-) [-] | 63 (-) [-] | (-) [-] | | | | | |
| 入学定員超過率 B/A | | | | | 1.09 | | 0.95 | | 0.92 | | 0.96 | | | | | | |

- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、()書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみ実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
- ・ なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

| 対象年度 学 年 | 平成30年度 | | 令和元年度 | | 令和2年度 | | 令和3年度 | | 令和4年度 | | 令和5年度 | | 備 考 |
|-------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-----|
| | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | |
| 1年次 | [-] (-) | [-] (-) | [-] (-) | [-] (-) | [1] (-) | [-] (-) | [2] (-) | [-] (-) | [-] (-) | [-] (-) | [-] (2) | [-] (-) | |
| 2年次 | | | [-] (-) | [-] (-) | [-] (-) | [-] (-) | [1] (-) | [-] (-) | [1] (2) | [-] (-) | [-] (-) | [-] (-) | |
| 3年次 | | | | | [-] (-) | [-] (-) | [-] (-) | [-] (-) | [1] (-) | [-] (-) | [1] (3) | [-] (-) | |
| 4年次 | | | | | | | [-] (-) | [-] (-) | [-] (-) | [-] (-) | [1] (-) | [-] (-) | |
| 計 | [] () | [] () | [] () | [] () | [1] () | [] () | [3] () | [] () | [2] (2) | [] () | [2] (5) | [] () | |

- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみ実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

| 区分 対象年度 | 在学者数(b) | 退学者数(a) | 内訳 | | | 主な退学理由 (留学生の理由は[]書き) |
|------------|---------|---------|--------|--------|-----|----------------------------------|
| | | | 入学した年度 | 退学者数 | | |
| | | | | うち留学生数 | | |
| 平成30年度 | 人 | 人 | 平成30年度 | 人 | 人 | |
| 令和元年度 | 人 | 人 | 平成30年度 | 人 | 人 | |
| | | | 令和元年度 | 人 | 人 | |
| 令和2年度 | 71 人 | 1 人 | 平成30年度 | 人 | 人 | |
| | | | 令和元年度 | 人 | 人 | |
| | | | 令和2年度 | 1 人 | 0 人 | 進路変更(1人) |
| 令和3年度 | 132 人 | 2 人 | 平成30年度 | 人 | 人 | |
| | | | 令和元年度 | 0 人 | 0 人 | |
| | | | 令和2年度 | 1 人 | 0 人 | 除籍(1人) |
| | | | 令和3年度 | 1 人 | 0 人 | 経済的困窮(1人) |
| 令和4年度 | 190 人 | 7 人 | 平成30年度 | 人 | 人 | |
| | | | 令和元年度 | 人 | 人 | |
| | | | 令和2年度 | 1 人 | 0 人 | 就職・起業等(1人) |
| | | | 令和3年度 | 2 人 | 0 人 | 病気・けが・死亡(心疾患を除く)(1人)、心神衰弱・疾患(1人) |
| | | | 令和4年度 | 4 人 | 0 人 | 転学等(2人)、経済的困窮(1人)、 就学意欲低下(1人) |
| 令和5年度 | 246 人 | 0 人 | 平成30年度 | 人 | 人 | |
| | | | 令和元年度 | 人 | 人 | |
| | | | 令和2年度 | 0 人 | 0 人 | |
| | | | 令和3年度 | 0 人 | 0 人 | |
| | | | 令和4年度 | 0 人 | 0 人 | |
| | | | 令和5年度 | 0 人 | 0 人 | |
| 合 計 | | 10 人 | | 10 人 | 0 人 | |

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{71} = \boxed{1.4} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{132} = \boxed{1.51} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{7}{190} = \boxed{3.68} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{246} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<社会共同学部 社会福祉学科>

(1) ① 授業科目表

【履可時又は履出時】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年度 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 単位・単価 | |
|-----------------------------|--------------------------|-----------------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|----|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教員 | 准教員 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| 人間 | 人間の探究A-I (哲学する人間) | 1① | 2 | | | | | | | | 2 | |
| | 人間の探究A-II (哲学する人間) | 1② | 2 | | | | | | | | 2 | |
| | 人間の探究A-III (哲学する人間) | 1④ | 2 | | | | | | | | 2 | |
| | 人間の探究B-I (学び方とリベラルアーツ) | 1① | 2 | | | | | | | | 2 | |
| | 人間の探究B-II (学び方とリベラルアーツ) | 1② | 2 | | | | | | | | 2 | |
| | 人間の探究B-III (学び方とリベラルアーツ) | 1④ | 2 | | | | | | | | 2 | |
| | 人間の探究C-I (幸福についての人生論) | 1① | 2 | | | | | | | | 2 | |
| | 人間の探究C-II (幸福についての人生論) | 1② | 2 | | | | | | | | 2 | |
| | 人間の探究C-III (幸福についての人生論) | 1④ | 2 | | | | | | | | 2 | |
| | 人間の探究D-I (仏教的な生き方に学ぶ) | 1① | 2 | | | | | | | | 2 | |
| | 人間の探究D-II (仏教的な生き方に学ぶ) | 1② | 2 | | | | | | | | 2 | |
| | 人間の探究D-III (仏教的な生き方に学ぶ) | 1④ | 2 | | | | | | | | 2 | |
| | 人間の探究E-I (文学にみる近代) | 1① | 2 | | | | | | | | 2 | |
| | 人間の探究E-II (文学にみる近代) | 1② | 2 | | | | | | | | 2 | |
| | 人間の探究E-III (文学にみる近代) | 1④ | 2 | | | | | | | | 2 | |
| | 人間の探究F-I (現代アートの人間学) | 1① | 2 | | | | | | | | 2 | |
| | 人間の探究F-II (現代アートの人間学) | 1② | 2 | | | | | | | | 2 | |
| | 人間の探究F-III (現代アートの人間学) | 1④ | 2 | | | | | | | | 2 | |
| | 小計 (18科目) | - | - | 0 | 36 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 12 |
| | 社会 | 社会の探究A-I (共生社会) | 1① | 2 | | | | | | | | 2 |
| 社会の探究A-II (共生社会) | | 1② | 2 | | | | | | | | 2 | |
| 社会の探究A-III (共生社会) | | 1④ | 2 | | | | | | | | 2 | |
| 社会の探究B-I (超スマート社会の光と影) | | 1① | 2 | | | | | | | | 2 | |
| 社会の探究B-II (超スマート社会の光と影) | | 1② | 2 | | | | | | | | 2 | |
| 社会の探究B-III (超スマート社会の光と影) | | 1④ | 2 | | | | | | | | 2 | |
| 社会の探究C-I (近代を問い直す) | | 1① | 2 | | | | | | | | 2 | |
| 社会の探究C-II (近代を問い直す) | | 1② | 2 | | | | | | | | 2 | |
| 社会の探究C-III (近代を問い直す) | | 1④ | 2 | | | | | | | | 2 | |
| 社会の探究D-I (社会の課題を解決する力) | | 1① | 2 | | | | | | | | 2 | |
| 社会の探究D-II (社会の課題を解決する力) | | 1② | 2 | | | | | | | | 2 | |
| 社会の探究D-III (社会の課題を解決する力) | | 1④ | 2 | | | | | | | | 2 | |
| 社会の探究E-I (ソーシャルメディアの言語技術) | | 1① | 2 | | | | | | | | 2 | |
| 社会の探究E-II (ソーシャルメディアの言語技術) | | 1② | 2 | | | | | | | | 2 | |
| 社会の探究E-III (ソーシャルメディアの言語技術) | | 1④ | 2 | | | | | | | | 2 | |
| 小計 (15科目) | - | - | 0 | 30 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10 | |
| 自然 | 自然の探究A-I (地球サステナビリティ) | 1① | 2 | | | | | | | | 2 | |
| | 自然の探究A-II (地球サステナビリティ) | 1② | 2 | | | | | | | | 2 | |
| | 自然の探究A-III (地球サステナビリティ) | 1④ | 2 | | | | | | | | 2 | |
| | 自然の探究B-I (グリーンインフラ) | 1① | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | 自然の探究B-II (グリーンインフラ) | 1② | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | 自然の探究B-III (グリーンインフラ) | 1④ | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | 自然の探究C-I (健康・医療・福祉) | 1① | 2 | | | | | | | | 2 | |
| | 自然の探究C-II (健康・医療・福祉) | 1② | 2 | | | | | | | | 2 | |
| 小計 (6科目) | - | - | 0 | 12 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | |
| 学際 | 学際の実践学I (解決力と決断力) | 3④ | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | 学際の実践学II (解決力と決断力) | 4① | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | 学際の実践学III (解決力と決断力) | 4② | 2 | | | | | | | | 1 | |
| 小計 (3科目) | - | - | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| キー・コンピテンシー | データサイエンスI | 1① | 1 | | | | | | | | 6 | |
| | データサイエンスII | 1② | 1 | | | | | | | | 6 | |
| | データサイエンスIII | 1④ | 1 | | | | | | | | 6 | |
| | データサイエンスIV | 2① | 1 | | | | | | | | 2 | |
| | データサイエンスV | 2② | 1 | | | | | | | | 2 | |
| | データサイエンスVI | 2④ | 1 | | | | | | | | 2 | |
| | 小計 (6科目) | - | - | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 |
| ゼミナール | コミュニケーションI | 3① | 1 | | | | | | | | 1 | |
| | コミュニケーションII | 3② | 1 | | | | | | | | 1 | |
| | コミュニケーションIII | 3④ | 1 | | | | | | | | 1 | |
| | 小計 (3科目) | - | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| | 英語I | 1① | 1 | | | | | | | | 6 | |
| | 英語II | 1② | 1 | | | | | | | | 6 | |
| | 英語III | 1④ | 1 | | | | | | | | 6 | |
| | 中国語I | 1① | 1 | | | | | | | | 2 | |
| | 中国語II | 1② | 1 | | | | | | | | 2 | |
| 中国語III | 1④ | 1 | | | | | | | | 2 | | |
| フランス語I | 1① | 1 | | | | | | | | 1 | | |
| フランス語II | 1② | 1 | | | | | | | | 1 | | |
| フランス語III | 1④ | 1 | | | | | | | | 1 | | |
| 小計 (9科目) | - | - | 0 | 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 | |

【令和5年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年度 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 単位・単価 | |
|---------------------------|------------------------------|------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|----|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教員 | 准教員 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| 第I類科目 | 人間の探究I (哲学する人間) | 1① | 2 | | | | | | | | 4 | |
| | 人間の探究II (哲学する人間) | 1② | 2 | | | | | | | | 4 | |
| | 人間の探究III (哲学する人間) | 1④ | 2 | | | | | | | | 4 | |
| | 人間の探究I (リベラルアーツを考える) | 1① | 2 | | | | | | | | 4 | |
| | 人間の探究II (リベラルアーツを考える) | 1② | 2 | | | | | | | | 4 | |
| | 人間の探究III (リベラルアーツを考える) | 1④ | 2 | | | | | | | | 4 | |
| | 人間の探究I (物議的徳性と近代的自覚の確立/超克) | 1① | 2 | | | | | | | | 2 | |
| | 人間の探究II (物議的徳性と近代的自覚の確立/超克) | 1② | 2 | | | | | | | | 2 | |
| | 人間の探究III (物議的徳性と近代的自覚の確立/超克) | 1④ | 2 | | | | | | | | 2 | |
| | 人間の探究I (仏教的生き方) | 1① | 2 | | | | | | | | 4 | |
| | 人間の探究II (仏教的生き方) | 1② | 2 | | | | | | | | 4 | |
| | 人間の探究III (仏教的生き方) | 1④ | 2 | | | | | | | | 4 | |
| | 人間の探究I (グローバル・イシュー) | 1① | 2 | | | | | | | | 4 | |
| | 人間の探究II (グローバル・イシュー) | 1② | 2 | | | | | | | | 4 | |
| | 人間の探究III (グローバル・イシュー) | 1④ | 2 | | | | | | | | 4 | |
| | 人間の探究I (歴史する人間-中国古代/配膳/配膳) | 1① | 2 | | | | | | | | 2 | |
| | 人間の探究II (歴史する人間-中国古代/配膳/配膳) | 1② | 2 | | | | | | | | 2 | |
| | 人間の探究III (歴史する人間-中国古代/配膳/配膳) | 1④ | 2 | | | | | | | | 2 | |
| | 人間の探究I (時代背景と作品解釈) | 1① | 2 | | | | | | | | 2 | |
| | 人間の探究II (時代背景と作品解釈) | 1② | 2 | | | | | | | | 2 | |
| | 人間の探究III (時代背景と作品解釈) | 1④ | 2 | | | | | | | | 2 | |
| | 人間の探究I (現代アート) | 1① | 2 | | | | | | | | 2 | |
| | 人間の探究II (現代アート) | 1② | 2 | | | | | | | | 2 | |
| | 人間の探究III (現代アート) | 1④ | 2 | | | | | | | | 2 | |
| | 小計 (24科目) | - | - | 0 | 48 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 18 |
| | 社会の探究I (共生社会) | 1① | 2 | | | | | | | | | 3 |
| | 社会の探究II (共生社会) | 1② | 2 | | | | | | | | | 3 |
| | 社会の探究III (共生社会) | 1④ | 2 | | | | | | | | | 3 |
| | 社会の探究I (新共生論) | 1① | 2 | | | | | | | | | 2 |
| | 社会の探究II (新共生論) | 1② | 2 | | | | | | | | | 2 |
| 社会の探究III (新共生論) | 1④ | 2 | | | | | | | | | 2 | |
| 社会の探究I (超スマート社会) | 1① | 2 | | | | | | | | | 3 | |
| 社会の探究II (超スマート社会) | 1② | 2 | | | | | | | | | 3 | |
| 社会の探究III (超スマート社会) | 1④ | 2 | | | | | | | | | 3 | |
| 社会の探究I (近代を問い直す) | 1① | 2 | | | | | | | | | 3 | |
| 社会の探究II (近代を問い直す) | 1② | 2 | | | | | | | | | 3 | |
| 社会の探究III (近代を問い直す) | 1④ | 2 | | | | | | | | | 3 | |
| 社会の探究I (社会の課題を見いだす) | 1① | 2 | | | | | | | | | 4 | |
| 社会の探究II (社会の課題を見いだす) | 1② | 2 | | | | | | | | | 4 | |
| 社会の探究III (社会の課題を見いだす) | 1④ | 2 | | | | | | | | | 4 | |
| 社会の探究I (ソーシャルメディアと言語技術) | 1① | 2 | | | | | | | | | 4 | |
| 社会の探究II (ソーシャルメディアと言語技術) | 1② | 2 | | | | | | | | | 4 | |
| 社会の探究III (ソーシャルメディアと言語技術) | 1④ | 2 | | | | | | | | | 4 | |
| 小計 (15科目) | - | - | 0 | 36 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 17 | |
| 自然の探究I (地球サステナビリティ) | 1① | 2 | | | | | | | | | 7 | |
| 自然の探究II (地球サステナビリティ) | 1② | 2 | | | | | | | | | 7 | |
| 自然の探究III (地球サステナビリティ) | 1④ | 2 | | | | | | | | | 7 | |
| 自然の探究I (グリーンインフラ) | 1① | 2 | | | | | | | | | 4 | |
| 自然の探究II (グリーンインフラ) | 1② | 2 | | | | | | | | | 4 | |
| 自然の探究III (グリーンインフラ) | 1④ | 2 | | | | | | | | | 4 | |
| 自然の探究I (健康・医療・福祉) | 1① | 2 | | | | | | | | | 7 | |
| 自然の探究II (健康・医療・福祉) | 1② | 2 | | | | | | | | | 7 | |
| 自然の探究III (健康・医療・福祉) | 1④ | 2 | | | | | | | | | 7 | |
| 自然の探究I (数学と心・仏教) | 1① | 2 | | | | | | | | | 2 | |
| 自然の探究II (数学と心・仏教) | 1② | 2 | | | | | | | | | 2 | |
| 自然の探究III (数学と心・仏教) | 1④ | 2 | | | | | | | | | 2 | |
| 小計 (12科目) | - | - | 0 | 24 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 19 | |
| データサイエンスI | 1① | 1 | | | | | | | | | 16 | |
| データサイエンスII | 1② | 1 | | | | | | | | | 16 | |
| データサイエンスIII | 1④ | 1 | | | | | | | | | 16 | |
| データサイエンスIV | 2① | 1 | | | | | | | | | 2 | |
| データサイエンスV | 2② | 1 | | | | | | | | | 2 | |
| データサイエンスVI | 2④ | 1 | | | | | | | | | 2 | |
| 小計 (6科目) | - | - | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 16 | |
| リーダーシップI | 2① | 1 | | | | | | | | | 7 | |
| リーダーシップII | 2② | 2 | | | | | | | | | 2 | |
| リーダーシップIII | 2④ | 2 | | | | | | | | | 2 | |
| 小計 (3科目) | - | - | 5 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 | |
| 総合英語I | 1① | 1 | | | | | | | | | 20 | |
| 総合英語II | 1② | 1 | | | | | | | | | 20 | |
| 総合英語III | 1④ | 1 | | | | | | | | | 20 | |
| 小計 (3科目) | - | - | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 20 | |

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。そして、各年度については、**履修可又は履修時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなくなったために未開講となった科目についても科目名の後に「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - (2ページの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門大学等の場合、「専修、専攻」又は実社による履修科目には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「臨地実務実習」による履修科目には「【臨】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ①-2授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・ 人間の探究B-I(学び方とリベラルアーツ)は教育効果の観点から、担当者を「岡本名津子」へ変更
- ・ 人間の探究B-II(学び方とリベラルアーツ)は教育効果の観点から、担当者を「岡本名津子」へ変更
- ・ 人間の探究B-III(学び方とリベラルアーツ)は教育効果の観点から、担当者を「岡本名津子」へ変更
- ・ 人間の探究C-I(幸福についての人生論)は教育効果の観点から、担当者を「前田長子」「丹波博紀」へ変更
- ・ 人間の探究C-II(幸福についての人生論)は教育効果の観点から、担当者を「前田長子」「丹波博紀」へ変更
- ・ 人間の探究C-III(幸福についての人生論)は教育効果の観点から、担当者を「前田長子」「丹波博紀」へ変更
- ・ 人間の探究D-I(仏教的な生き方について学ぶ)は教育効果の観点から、担当者を「中塚光之介」へ変更
- ・ 人間の探究D-II(仏教的な生き方について学ぶ)は教育効果の観点から、担当者を「中塚光之介」へ変更
- ・ 人間の探究D-III(仏教的な生き方について学ぶ)は教育効果の観点から、担当者を「中塚光之介」へ変更
- ・ 人間の探究E-I(文学にみる近代)は教育効果の観点から、担当者を「井澤恒夫」、「徳永直彰」へ変更
- ・ 人間の探究E-II(文学にみる近代)は教育効果の観点から、担当者を「井澤恒夫」、「徳永直彰」へ変更
- ・ 人間の探究E-III(文学にみる近代)は教育効果の観点から、担当者を「井澤恒夫」、「徳永直彰」へ変更
- ・ 人間の探究F-I(現代アートの人間学)は教育効果の観点から、担当者を「田島悠史」、「藤上晶子」へ変更
- ・ 人間の探究F-II(現代アートの人間学)は教育効果の観点から、担当者を「田島悠史」、「藤上晶子」へ変更
- ・ 人間の探究F-III(現代アートの人間学)は教育効果の観点から、担当者を「田島悠史」、「藤上晶子」へ変更
- ・ 社会の探究A-I(共生社会)は適正人数を考慮し担当者を「三木椿香」「丹波博紀」「福井敬」を追加
- ・ 社会の探究A-II(共生社会)は適正人数を考慮し担当者を「三木椿香」「丹波博紀」「福井敬」を追加
- ・ 社会の探究A-III(共生社会)は適正人数を考慮し担当者を「三木椿香」「丹波博紀」「福井敬」を追加
- ・ 社会の探究C-I(近代を問直す)は教育効果の観点から、担当者を「井澤恒夫」、「伊藤隆平」へ変更
- ・ 社会の探究C-II(近代を問直す)は教育効果の観点から、担当者を「井澤恒夫」、「伊藤隆平」へ変更
- ・ 社会の探究C-III(近代を問直す)は教育効果の観点から、担当者を「井澤恒夫」、「伊藤隆平」へ変更
- ・ 社会の探究E-I(ソーシャルメディアの言語技術)は教育効果の観点から、担当者を「中塚光之介」へ変更
- ・ 社会の探究E-II(ソーシャルメディアの言語技術)は教育効果の観点から、担当者を「中塚光之介」へ変更
- ・ 社会の探究E-III(ソーシャルメディアの言語技術)は教育効果の観点から、担当者を「中塚光之介」へ変更
- ・ 自然の探究A-I(地域サステナビリティ)は適正人数を考慮し担当者を「井澤恒夫」、「三木椿香」「山田俊弘」を追加
- ・ 自然の探究A-II(地域サステナビリティ)は適正人数を考慮し担当者を「井澤恒夫」、「三木椿香」「山田俊弘」を追加
- ・ 自然の探究A-III(地域サステナビリティ)は適正人数を考慮し担当者を「井澤恒夫」、「三木椿香」「山田俊弘」を追加
- ・ 自然の探究B-I(グリーンインフラ)は適正人数を考慮し担当者を「中塚光之介」「竹内幸哉」「藤部真幸」「青田潤一」を追加
- ・ 自然の探究B-II(グリーンインフラ)は適正人数を考慮し担当者を「中塚光之介」「竹内幸哉」「藤部真幸」「青田潤一」を追加
- ・ 自然の探究B-III(グリーンインフラ)は適正人数を考慮し担当者を「中塚光之介」「竹内幸哉」「藤部真幸」「青田潤一」を追加
- ・ データサイエンスIは適正人数を考慮し担当者を「前田長子」「丹波博紀」「尾白克子」へ変更
- ・ 基礎ゼミナールI、基礎ゼミナールII、基礎ゼミナールIII、フィールドワークIは、「水田 健輔」が兼任により、兼任教員として科目を担当
- ・ 英語Iは適正人数を考慮し担当者を「伊藤淑子」「天木勇樹」「行森まさみ」「内藤貴子」「近藤真理」「杉崎美生」「下島義容」「谷村久美子」を追加
- ・ 英語IIは適正人数を考慮し担当者を「伊藤淑子」「天木勇樹」「行森まさみ」「内藤貴子」「近藤真理」「杉崎美生」「下島義容」「谷村久美子」を追加
- ・ 英語IIIは適正人数を考慮し担当者を「伊藤淑子」「天木勇樹」「行森まさみ」「内藤貴子」「近藤真理」「杉崎美生」「下島義容」「谷村久美子」を追加
- ・ 中国語Iは適正人数を考慮し担当者を「漆紅」「徐迎新」「平石淑子」を追加
- ・ 中国語IIは適正人数を考慮し担当者を「漆紅」「徐迎新」「平石淑子」を追加
- ・ 中国語IIIは適正人数を考慮し担当者を「漆紅」「徐迎新」「平石淑子」を追加

【令和3年度】

- 第I類科目
- (科目名称)
- ・ 第I類科目再編成の理由により、授業科目の名称を「人間の探究A-F-I・II・III(授業テーマ)」から「人間の探究I・II・III(授業テーマ)」に変更。
 - ・ 第I類科目再編成の理由により、「人間の探究I~III」の授業テーマ「幸福についての人生論」から「物語的想像力と近代的自我の確立/超克」に変更。
 - ・ 第I類科目再編成の理由により、「人間の探究I~III」の授業テーマ「仏教的な生き方について学ぶ」から「仏教的な生き方」に変更。
 - ・ 第I類科目再編成の理由により、「人間の探究I~III」の授業テーマ「文学にみる近代」から「時代背景と作品解釈」に変更。
 - ・ 第I類科目再編成の理由により、「人間の探究I~III」の授業テーマ「現代アートの人間学」から「現代アート」に変更。
 - ・ 第I類科目再編成の理由により、「人間の探究I~III」の授業テーマ「グローバル・インナー」及び「人間の探究I・II・III(歴史する人間-中国古代・記録・認識)」を新規追加。
 - ・ 第I類科目再編成の理由により、授業科目の名称を「社会の探究A-E-I・II・III(授業テーマ)」から「社会の探究I・II・III(授業テーマ)」に変更。
 - ・ 第I類科目再編成の理由により、「社会の探究I~III」の授業テーマ「スマート社会の光と影」から「スマート社会」に変更。
 - ・ 第I類科目再編成の理由により、「社会の探究I~III」の授業テーマ「社会の課題を解決する力」から「社会の課題解決」に変更。
 - ・ 第I類科目再編成の理由により、「社会の探究I~III」の授業テーマ「ソーシャルメディアの言語技術」から「SNSと言語技術」に変更。
 - ・ 第I類科目再編成の理由により、授業科目「社会の探究I・II・III(新共生論)」を新規追加。
 - ・ 第I類科目再編成の理由により、授業科目の名称を「自然の探究A-B-I・II・III(授業テーマ)」から「自然の探究I・II・III(授業テーマ)」に変更。
 - ・ 第I類科目再編成の理由により、「自然の探究I~III」の授業テーマ「グリーンインフラ」から「グリーンインフラ」に変更。
 - ・ 第I類科目再編成の理由により、授業科目「自然の探究I・II・III(健康・医療・福祉)」及び「自然の探究I・II・III(数学と仏教・心)」を新規追加。
 - ・ 第I類科目再編成の理由により、授業科目の名称「リダーシップI・II・III」を新規追加。
 - ・ 第I類科目再編成の理由により、授業科目の名称「英語I・II・III」から「総合英語I・II・III」に変更。
 - ・ 第I類科目再編成の理由により、授業科目「学融合ゼミナールI・II」を新規追加。
- (単位数)
- ・ 第I類科目再編成の理由により、「総合英語I~III」の単位数を「選択」から「必修」に変更。
 - ・ 専任教員等の配置
 - ・ 教員変更の理由により、「社会の探究I~III(共生社会)」の専任教員等の配置を「講師I」から「講師0」に変更。
 - ・ 教員変更の理由により、「データサイエンスI~VI」の専任教員等の配置を「教授I」から「教授0」、「准教授I」から「准教授0」に変更。
- 第II類科目
- (専任教員等の配置)
- ・ 教員異動の理由により、「経済学概論」の専任教員等の配置を「講師I」から「講師0」に変更。
 - ・ 教員異動の理由により、「公共政策のための政治学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授I」に変更。
 - ・ 教員異動の理由により、「公共政策のための行政学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授I」に変更。
 - ・ 教員退職の理由により、「公共政策のための財政学」の専任教員等の配置を「教授I」から「教授0」に変更。
 - ・ 教員退職の理由により、「公共政策の基礎E(念基概論)」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授I」に変更。
 - ・ 教員退職の理由により、「経済政策基礎論」の専任教員等の配置を「教授I」から「教授0」に変更。
 - ・ 教員変更の理由により、「教育政策基礎論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授I」に変更。
 - ・ 教員昇任の理由により、「文化政策基礎論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授I」、「准教授I」から「准教授0」に変更。
 - ・ 教員変更の理由により、「基礎ゼミナールI~III」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」、「准教授2」から「准教授1」に変更。
 - ・ 教員変更、教員採用および教員昇任の理由により、「課題研究ゼミナールI~III」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」に変更。
 - ・ 教員変更、教員採用および教員昇任の理由により、「専門ゼミナールI~III」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授0」に変更。
 - ・ 教員昇任の理由により、「多文化共生社会論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授I」、「准教授I」から「准教授0」に変更。
 - ・ 教員昇任の理由により、「文化とメンタルヘルス」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授I」、「准教授I」から「准教授0」に変更。
 - ・ 教員変更の理由により、「フィールドワークI」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授5」に変更。
 - ・ 教員変更、教員採用および教員昇任の理由により、「フィールドワークII」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授5」に変更。
 - ・ 教員変更、教員採用および教員昇任の理由により、「フィールドワークIII」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授9」、「講師2」から「講師1」に変更。
 - ・ 教員採用および教員異動・昇任の理由により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授9」、「准教授2」から「准教授1」、「講師2」から「講師1」に変更。
- (単位数)
- カリキュラム改編に伴い、社会福祉特講Iの単位数を「2」から「1」に変更。
- (配当年次)
- ・ 新型コロナウイルスに伴う授業日程変更の理由により、「社会共生論」、「社会学概論」、「経済学概論」、「社会統計学」、「公共政策のための政治学」、「公共政策のための法律学」、「公共政策のための財政学」、「公共政策のための情報学」、「公共政策の基礎B(通称論)」、「公共政策の基礎C(分析・評価論)」、「経済政策基礎論」、「環境政策基礎論」、「福祉政策基礎論」、「コミュニティ政策基礎論」、「労働政策基礎論」、「文化政策基礎論」、「社会保険政策論」、「地域包括ケア論」、「文化とメンタルヘルス」、「人間環境概論」、「地球環境論」、「観光まちづくり論」、「観光マーケティング論」、「観光産業論」の配当年次を変更。

【令和4年度】

<科目名称>
・「社会の探究Ⅰ～Ⅲ」の授業テーマ「SNSと言語技術」から「ソーシャルメディアと言語技術」に科目名変更。
・「自然の探究Ⅰ～Ⅲ」の授業テーマ「数学と仏教・心」から「数学と心・仏教」に科目名変更。

<専任教員等の配置>
・「リーダーシップⅡ」の専任教員等の配置を、「教授0」から「教授2」に変更。
・「リーダーシップⅢ」の専任教員等の配置を、「教授0」から「教授2」に変更。
・「基礎ゼミナールⅠ」の専任教員等の配置を、「准教授1」から「准教授2」に変更。
・「基礎ゼミナールⅡ」の専任教員等の配置を、「准教授1」から「准教授2」に変更。
・「社会福祉基礎実践」の専任教員等の配置を、「教授2」から「教授3」、「准教授2」から「准教授1」へ変更。
・「ソーシャルワーク論Ⅲ」の専任教員等の配置を、「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」へ変更。
・「ソーシャルワーク論Ⅳ」の専任教員等の配置を、「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」へ変更。
・「精神障害リハビリテーション論」の専任教員等の配置を、「准教授0」から「准教授1」へ変更。
・「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」の専任教員等の配置を、「教授2」から「教授3」、「准教授2」から「准教授1」へ変更。
・「ソーシャルワーク実習Ⅱ」の専任教員等の配置を、「教授2」から「教授1」へ変更。
・「プロジェクト研究Ⅲ」の専任教員等の配置を、「教授2」から「教授1」へ変更。

<配当年度>
・「就労支援論」、「社会共生論」の配当年度を変更。

<配当クォーター>
・「仏教社会福祉論」、「社会保険論Ⅰ」、「ユニバーサルデザイン論」、「高齢者福祉論」、「スクールソーシャルワーク論」、「医学概論」、「医療福祉論」の配当クォーターを変更。

【令和5年度】

I・Ⅲ 類科目
<科目の追加>
卒業研究の指導充実のため「専門ゼミナールⅣ～Ⅵ」を追加

<科目名称>

<専任教員等の配置>
・教員変更の理由により、「学融合ゼミナールⅠ」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授4」、「准教授2」から「准教授1」に変更。
・教員変更の理由により、「学融合ゼミナールⅡ」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授0」に変更。
小計の兼任・兼任教員を「5」から「10」へ変更。
・教員変更の理由により、「社会学概論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、兼任・兼任教員の配置を「0」から「1」へ変更。
・教員変更の理由により、「公共政策のための情報学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、兼任・兼任教員の配置を「0」から「1」へ変更。
・教員変更の理由により、「公共政策の基礎C(実践論)」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
・教員変更の理由により、「基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授3」、「准教授0」から「准教授1」に変更。また兼任・兼任教員の配置を「0」から「1」へ変更。
・教員変更の理由により、「基礎ゼミナールⅢ」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授1」、「准教授1」から「准教授2」に変更。
・教員変更の理由により、「課題研究ゼミナールⅠ」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「専任講師0」から「専任講師1」に変更。
・教員変更の理由により、「課題研究ゼミナールⅡ」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」、「准教授2」から「准教授0」、「専任講師0」から「専任講師1」に変更。
・教員変更の理由により、「専門ゼミナールⅠ・Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授7」に変更。
・教員変更の理由により、「専門ゼミナールⅢ」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授7」、「専任講師0」を「専任講師1」に変更。
小計の専任教員の配置を「教授0」から「教授10」、兼任・兼任教員を「0」から「11」へ変更。
・教員変更の理由により、「スポーツ振興論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、兼任・兼任教員を「0」から「1」へ変更。
・教員変更の理由により、「スポーツ政策論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「兼任・兼任」を「兼任・兼任0」に変更。
・教員変更の理由により、「フィールドワークⅠ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授4」に変更。
・教員変更の理由により、「フィールドワークⅡ」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授7」、「専任講師0」から「専任講師1」に変更。
・教員変更の理由により、「フィールドワークⅢ」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授7」、「専任講師0」から「専任講師1」に変更。
小計の専任教員の配置を「教授11」から「教授9」、准教授を「0」から「1」へ変更。
・教員変更の理由により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授7」、「准教授1」から「教授0」に変更
小計の専任教員の配置を「教授0」から「教授7」、「准教授1」から「教授0」に変更

<必修科目の変更>
「課題研究ゼミナールⅠ～Ⅲ」「専門ゼミナールⅠ～Ⅲ」を必修科目から選択科目へ変更
「社会学概論」、「経済学概論」、「社会統計学」、「社会調査法」を必修科目から選択科目へ変更

<配当年度>
「社会学概論」、「公共政策のための情報学」、「文化政策基礎論」、「地域人材育成論」、「文化資源論」、「地球環境論」、「脱炭素社会論」、「観光まちづくり論」、「海外フィールドワーク」の配当年度・クォーターを変更

Ⅱ Ⅱ 類科目
<単位数>
・〇〇の理由により「社会福祉特講Ⅰ」の単位数を「2」から「1」に変更。
・〇〇の理由により「社会福祉特講Ⅱ」の単位数を「2」から「3」に変更。
・〇〇の理由により「精神保健福祉援助実習指導Ⅱ」の単位数を「2」から「4」に変更。

<専任教員等の配置>
・教員変更の理由により、「学融合ゼミナールⅠ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
・教員変更の理由により、「学融合ゼミナールⅡ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
・教員変更の理由により、「社会福祉基礎実践」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
・教員変更の理由により、「社会保険論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
・教員変更の理由により、「現代貧困論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
・教員変更の理由により、「ソーシャルワーク論Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
・教員変更の理由により、「精神障害リハビリテーション論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授0」に変更。「准教授0」に変更。
・教員変更の理由により、「ソーシャルワーク実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授4」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
・教員変更の理由により、「ソーシャルワーク実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授3」、「准教授0」から「准教授1」に変更。
・教員変更の理由により、「ソーシャルワーク実習Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授3」、「准教授0」から「准教授1」に変更。
・教員変更の理由により、「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
・教員変更の理由により、「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」、「准教授2」から「准教授1」に変更。
・教員変更の理由により、「ソーシャルワーク実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」、「准教授2」から「准教授0」に変更。
・教員変更の理由により、「ソーシャルワーク実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授4」、「准教授0」から「准教授1」に変更。
・教員変更の理由により、「精神保健福祉援助実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」に変更。
・教員変更の理由により、「精神保健福祉援助実習指導Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」に変更。
・教員変更の理由により、「プロジェクト研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授7」、「准教授2」から「准教授1」に変更。
・教員変更の理由により、「プロジェクト研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授7」、「准教授2」から「准教授1」に変更。
・教員変更の理由により、「プロジェクト研究Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授7」、「准教授2」から「准教授1」に変更。
・教員変更の理由により、「プロジェクト研究Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授7」、「准教授2」から「准教授1」に変更。
・教員変更の理由により、「インターンシップⅠ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
・教員変更の理由により、「インターンシップⅡ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
・教員変更の理由により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授7」、「准教授2」から「准教授1」に変更。
・教員変更の理由により、「卒業論文」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授7」、「准教授2」から「准教授1」に変更。

<配当年度>
・「精神保健福祉援助実習指導Ⅰ」、「精神保健福祉援助実習Ⅰ」の配当年度を変更

<配当クォーター>
「基礎ゼミナールⅠ」、「基礎ゼミナールⅡ」、「社会福祉基礎実践」、「社会福祉原論Ⅱ」、「現代貧困論」、「ソーシャルワーク論Ⅲ」、「福祉経営論」、「介護福祉論」、「障害者福祉論」、「司法福祉論」、「権利擁護を支える法制度」、「精神保健福祉の原理」、「精神障害リハビリテーション論」、「精神保健学」、「精神疾患とその治療」、「医学概論」、「医療福祉論」、「医療ソーシャルワーク論」、「エンド・オブ・ライフケア論」、「ソーシャルワーク実習Ⅰ」、「ソーシャルワーク実習Ⅱ」、「ソーシャルワーク実習Ⅲ」、「ソーシャルワーク実習Ⅳ」、「ソーシャルワーク実習Ⅴ」、「ソーシャルワーク実習Ⅵ」、「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」、「ソーシャルワーク実習Ⅰ」、「ソーシャルワーク実習Ⅱ」、「精神保健福祉援助実習Ⅰ」の配当クォーターを変更

(注) ・ 2(1)一(1) 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年度の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・ 不要な年度(令和4年度開講であれば令和3年度以前)の表は裏返し削除してください。
・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

| 設置時の計画 | | | | 変更状況 | | | | 備考 |
|----------|-----------|---------|-----------|-------------------|--------------------|------------------|-----------|----|
| 必修 | 選択 | 自由 | 計 (A) | 必修 | 選択 | 自由 | 計 | |
| 19 科目 | 117 科目 | 0 科目 | 136 科目 | 21 科目 [2] | 125 科目 [8] | 0 科目 [-] | 146 科目 | |

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

| 番号 | 授業科目名 | 単位数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 未開講の理由、代替措置の有無 |
|----|-----------------|-----|------|-------|-------|----------------|
| 1 | コミュニティソーシャルワーク論 | 2 | 3④ | 専門 | 選択 | 隔年休講により次年度開講予定 |
| 2 | ユニバーサルデザイン論 | 2 | 2④ | 専門 | 選択 | 隔年休講により次年度開講予定 |
| 3 | ソーシャルワークの理論と方法 | 4 | 3③ | 専門 | 選択 | 隔年開講により次年度開講予定 |
| 4 | ソーシャルワーク実習Ⅲ | 2 | 4 | 専門 | 選択 | 隔年開講により次年度開講予定 |
| 5 | 精神保健福祉援助演習Ⅲ | 2 | 4② | 専門 | 選択 | 隔年開講により次年度開講予定 |
| 6 | | | | | | |

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

| 番号 | 授業科目名 | 単位数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 廃止の理由、代替措置の有無 |
|----|-------------------|-----|------|-------|-------|---|
| 1 | 学融合の実践学Ⅰ(解決力と決断力) | 2 | 3④ | 一般 | 必修 | 第Ⅰ類科目の位置づけ変更に伴う削除 |
| 2 | 学融合の実践学Ⅱ(解決力と決断力) | 2 | 4① | 一般 | 必修 | 第Ⅰ類科目の位置づけ変更に伴う削除 |
| 3 | 学融合の実践学Ⅲ(解決力と決断力) | 2 | 4② | 一般 | 必修 | 第Ⅰ類科目の位置づけ変更に伴う削除 |
| 4 | コミュニケーションⅠ | 1 | 3① | 一般 | 必修 | 第Ⅰ類科目の位置づけ変更に伴う削除 |
| 5 | コミュニケーションⅡ | 1 | 3② | 一般 | 必修 | 第Ⅰ類科目の位置づけ変更に伴う削除 |
| 6 | コミュニケーションⅢ | 1 | 3④ | 一般 | 必修 | 第Ⅰ類科目の位置づけ変更に伴う削除 |
| 7 | 中国語Ⅰ | 1 | 1① | 一般 | 選択 | 第Ⅰ類科目の位置づけ変更に伴う削除 |
| 8 | 中国語Ⅱ | 1 | 1② | 一般 | 選択 | 第Ⅰ類科目の位置づけ変更に伴う削除 |
| 9 | 中国語Ⅲ | 1 | 1④ | 一般 | 選択 | 第Ⅰ類科目の位置づけ変更に伴う削除 |
| 10 | フランス語Ⅰ | 1 | 1① | 一般 | 選択 | 第Ⅰ類科目の位置づけ変更に伴う削除 |
| 11 | フランス語Ⅱ | 1 | 1② | 一般 | 選択 | 第Ⅰ類科目の位置づけ変更に伴う削除 |
| 12 | フランス語Ⅲ | 1 | 1④ | 一般 | 選択 | 第Ⅰ類科目の位置づけ変更に伴う削除 |
| 13 | 福祉行財政・福祉計画論 | 2 | 3①～② | 専門 | 選択 | 「社会福祉士及び介護福祉士法施行規則及び社会福祉士介護福祉士養成施設指定規則の一部を改正する省令(令和2年3月6日厚生労働省令第27号)」、「社会福祉士介護福祉士学校指定規則及び社会福祉に関する科目を定める省令の一部を改正する省令(令和2年3月6日文科科学省・厚生労働省令第1号)」、「精神保健福祉士法施行規則等の一部を改正する省令(令和2年3月6日厚生労働省令第28号)」、「精神障害者の保健及び福祉に関する科目を定める省令の一部を改正する省令(令和2年3月6日文科科学省・厚生労働省令第2号)」に基づく社会福祉士養成課程及び精神保健福祉士養成課程の教育内容の見直しに伴う改正 |

| | | | | | | |
|----|----------|---|------|----|----|---|
| 14 | 福祉法学 | 2 | 2③～④ | 専門 | 選択 | 「社会福祉士及び介護福祉士法施行規則及び社会福祉士介護福祉士養成施設指定規則の一部を改正する省令（令和2年3月6日厚生労働省令第27号）」、「社会福祉士介護福祉士学校指定規則及び社会福祉に関する科目を定める省令の一部を改正する省令（令和2年3月6日文科科学省・厚生労働省令第1号）」、「精神保健福祉士法施行規則等の一部を改正する省令（令和2年3月6日厚生労働省令第28号）」、「精神障害者の保健及び福祉に関する科目を定める省令の一部を改正する省令（令和2年3月6日文科科学省・厚生労働省令第2号）」に基づく社会福祉士養成課程及び精神保健福祉士養成課程の教育内容の見直しに伴う改正 |
| 15 | 精神保健福祉論Ⅰ | 2 | 2①～② | 専門 | 選択 | 「社会福祉士及び介護福祉士法施行規則及び社会福祉士介護福祉士養成施設指定規則の一部を改正する省令（令和2年3月6日厚生労働省令第27号）」、「社会福祉士介護福祉士学校指定規則及び社会福祉に関する科目を定める省令の一部を改正する省令（令和2年3月6日文科科学省・厚生労働省令第1号）」、「精神保健福祉士法施行規則等の一部を改正する省令（令和2年3月6日厚生労働省令第28号）」、「精神障害者の保健及び福祉に関する科目を定める省令の一部を改正する省令（令和2年3月6日文科科学省・厚生労働省令第2号）」に基づく社会福祉士養成課程及び精神保健福祉士養成課程の教育内容の見直しに伴う改正 |
| 16 | 精神保健福祉論Ⅱ | 2 | 2③～④ | 専門 | 選択 | 「社会福祉士及び介護福祉士法施行規則及び社会福祉士介護福祉士養成施設指定規則の一部を改正する省令（令和2年3月6日厚生労働省令第27号）」、「社会福祉士介護福祉士学校指定規則及び社会福祉に関する科目を定める省令の一部を改正する省令（令和2年3月6日文科科学省・厚生労働省令第1号）」、「精神保健福祉士法施行規則等の一部を改正する省令（令和2年3月6日厚生労働省令第28号）」、「精神障害者の保健及び福祉に関する科目を定める省令の一部を改正する省令（令和2年3月6日文科科学省・厚生労働省令第2号）」に基づく社会福祉士養成課程及び精神保健福祉士養成課程の教育内容の見直しに伴う改正 |
| 17 | 精神保健福祉論Ⅲ | 2 | 3①～② | 専門 | 選択 | 「社会福祉士及び介護福祉士法施行規則及び社会福祉士介護福祉士養成施設指定規則の一部を改正する省令（令和2年3月6日厚生労働省令第27号）」、「社会福祉士介護福祉士学校指定規則及び社会福祉に関する科目を定める省令の一部を改正する省令（令和2年3月6日文科科学省・厚生労働省令第1号）」、「精神保健福祉士法施行規則等の一部を改正する省令（令和2年3月6日厚生労働省令第28号）」、「精神障害者の保健及び福祉に関する科目を定める省令の一部を改正する省令（令和2年3月6日文科科学省・厚生労働省令第2号）」に基づく社会福祉士養成課程及び精神保健福祉士養成課程の教育内容の見直しに伴う改正 |

| | | | | | | |
|----|---------------|---|------|----|----|---|
| 18 | 精神保健福祉援助技術総論 | 2 | 3①～② | 専門 | 選択 | 「社会福祉士及び介護福祉士法施行規則及び社会福祉士介護福祉士養成施設指定規則の一部を改正する省令（令和2年3月6日厚生労働省令第27号）」、「社会福祉士介護福祉士学校指定規則及び社会福祉に関する科目を定める省令の一部を改正する省令（令和2年3月6日文科科学省・厚生労働省令第1号）」、「精神保健福祉士法施行規則等の一部を改正する省令（令和2年3月6日厚生労働省令第28号）」、「精神障害者の保健及び福祉に関する科目を定める省令の一部を改正する省令（令和2年3月6日文科科学省・厚生労働省令第2号）」に基づく社会福祉士養成課程及び精神保健福祉士養成課程の教育内容の見直しに伴う改正 |
| 19 | 精神保健福祉援助技術各論 | 2 | 3④ | 専門 | 選択 | 「社会福祉士及び介護福祉士法施行規則及び社会福祉士介護福祉士養成施設指定規則の一部を改正する省令（令和2年3月6日厚生労働省令第27号）」、「社会福祉士介護福祉士学校指定規則及び社会福祉に関する科目を定める省令の一部を改正する省令（令和2年3月6日文科科学省・厚生労働省令第1号）」、「精神保健福祉士法施行規則等の一部を改正する省令（令和2年3月6日厚生労働省令第28号）」、「精神障害者の保健及び福祉に関する科目を定める省令の一部を改正する省令（令和2年3月6日文科科学省・厚生労働省令第2号）」に基づく社会福祉士養成課程及び精神保健福祉士養成課程の教育内容の見直しに伴う改正 |
| 20 | 精神科リハビリテーション学 | 4 | 3①～② | 専門 | 選択 | 「社会福祉士及び介護福祉士法施行規則及び社会福祉士介護福祉士養成施設指定規則の一部を改正する省令（令和2年3月6日厚生労働省令第27号）」、「社会福祉士介護福祉士学校指定規則及び社会福祉に関する科目を定める省令の一部を改正する省令（令和2年3月6日文科科学省・厚生労働省令第1号）」、「精神保健福祉士法施行規則等の一部を改正する省令（令和2年3月6日厚生労働省令第28号）」、「精神障害者の保健及び福祉に関する科目を定める省令の一部を改正する省令（令和2年3月6日文科科学省・厚生労働省令第2号）」に基づく社会福祉士養成課程及び精神保健福祉士養成課程の教育内容の見直しに伴う改正 |
| 21 | 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ | 2 | 4③～④ | 専門 | 選択 | 「社会福祉士及び介護福祉士法施行規則及び社会福祉士介護福祉士養成施設指定規則の一部を改正する省令（令和2年3月6日厚生労働省令第27号）」、「社会福祉士介護福祉士学校指定規則及び社会福祉に関する科目を定める省令の一部を改正する省令（令和2年3月6日文科科学省・厚生労働省令第1号）」、「精神保健福祉士法施行規則等の一部を改正する省令（令和2年3月6日厚生労働省令第28号）」、「精神障害者の保健及び福祉に関する科目を定める省令の一部を改正する省令（令和2年3月6日文科科学省・厚生労働省令第2号）」に基づく社会福祉士養成課程及び精神保健福祉士養成課程の教育内容の見直しに伴う改正 |

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

令和3年度以降入学者を対象とし、学科ガイダンス時に説明を行った。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{26}{136} = \boxed{19.11} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

| 区 分 | | 内 容 | | | | 備 考 | | |
|-------------------|------------------|--|--------------------|------------------|--|---|---|-----------------|
| (1) 校 地 等 | 区 分 | 専 用 | 共 用 | 共用する他の 学校等の専用 | 計 | 校舎敷地のうち、 21,135.55㎡は(学)佛 教教育学園から貸与 [貸与期間]H28.4から 20年間 | | |
| | 校舎敷地 | 37,475.84㎡ | 0㎡ | 0㎡ | 37,475.84㎡ | | | |
| | 運動場用地 | 31,429.00㎡ | 0㎡ | 0㎡ | 31,429.00㎡ | | | |
| | 小 計 | 68,904.84㎡ | 0㎡ | 0㎡ | 68,904.84㎡ | | | |
| | そ の 他 | 5,035.94㎡ | 0㎡ | 0㎡ | 5,035.94㎡ | | | |
| 合 計 | 73,940.78㎡ | 0㎡ | 0㎡ | 73,940.78㎡ | | | | |
| (2) 校 舎 | 専 用 | 50,716㎡ 59,479.93㎡ (50,324㎡) (59,479.93㎡) | 0㎡ | 0㎡ | 50,716㎡ 59,479.93㎡ (50,324㎡) (59,479.93㎡) | 大学全体 建物新設 (3) | | |
| | 共 用 | (0 ㎡) | (0 ㎡) | (0 ㎡) | | | | |
| (3) 教 室 等 | 講 義 室 | 77室 82室 81室 | 51室 | 18室 | 4室 0室 (補助職員 4 0人) | 0室 (補助職員 0 人) | 建物新設 (3) 用途変更に伴う減 (5) | |
| | 演 習 室 | | | | | | | |
| (4) 専任教員研究室 | 新設学部等の名称 | | | 室 数 | | | 教員退職に伴い減 (5) | |
| | 社会共生学部 公共政策学科 | | | 15 室 | | | | |
| | 社会共生学部 社会福祉学科 | | | 9 室 | | | | |
| (5) 新設学部等の 名称 | 図 書 〔うち外国書〕 | 学術雑誌 〔うち外国書〕 | 電子ジャーナル 〔うち外国書〕 | 視聴覚資料 点 | 機 械・器 具 点 | 標 本 点 | 電子ジャーナル利用状 況について調査し、過 去も含め利用の少ない 電子ジャーナル(文 学、科学、宗教学)な どを利用停止とした。 今後、必要なデー タベースを改めて検討し 契約する計画である。 (4) | |
| | 社会共生学部 公共政策学科 | 696 [101] | 62 [54] | 17,335 | 0 | 0 | | |
| | 社会共生学部 社会福祉学科 | 281 [47] | 62 [54] | 17,335 | 0 | 0 | | |
| | 計 | 977 [148] | 62 [54] | 17,335 | 0 | 0 | | |
| (6) 図 書 館 | 面 積 | 5,656㎡ 9,136.30㎡ | 閱 覧 座 席 数 | 428 500 | 収 納 可 能 冊 数 | 688,167 809,998 | 図書館新設 (3) | |
| | 面 積 | 1,313 ㎡ | 体育館以外のスポーツ施設の概要 | | | | | |
| (8) 経費の見積り の概要 | 区 分 | 開設年度 | 完成年度 | 区 分 | 開設前年度 | 開設年度 | 完成年度 | 共同研究費等は 大学全体 |
| | 教員1人当り研究費等 | 400千円 | 400千円 | 図書購入費 | 5,000千円 | 3,000千円 | 3,000千円 | |
| | 共同研究費等 | 11,000千円 | 11,000千円 | 設備購入費 | - | - | - | |
| | 学生1人当り 納付金 | 第1年次 1,450千円 | 第2年次 1,250千円 | 第3年次 1,250千円 | 第4年次 1,250千円 | 第5年次 千円 | 第6年次 千円 | |
| 学生納付金以外の維持方法の概要 | | 私立大学等経常費補助金、寄付金(設立宗派・同窓会・寺院関係者)、手数料(入学検定料等)、資産運用収入等 | | | | | | |

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

| 大学の名称 | 大 正 大 学 | | | | | | | | | | 平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数 | 1 | 平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数 | 1 | 収容定員充足率0.7倍以下の学科数 | 1 | 収容定員充足率1.15倍以上の学科数 | 1 |
|----------|---------|------|----------|------|-----------|-----------|----------------|---------|--------------|-------------------|---------------------|-----|--|---|-------------------|---|--------------------|---|
| 既設学部等の名称 | 修業年限 | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員 | 学位又は称号 | 平均入学定員超過率 | 平均入学定員超過率(控除後) | 収容定員充足率 | 収容定員充足率(控除後) | 定員変更年度(AC期間の学科のみ) | 開設年度 | 所在地 | 備 考 | | | | | |
| 仏教学部 | 4 | 100 | 33 | 466 | | 0.98 | - | 0.92 | - | | 平成22 | | ※令和4年度より編入学定員増加 | | | | | |
| 仏教学科 | 4 | 100 | 33 | 466 | 学士(仏教学) | 0.98 | - | 0.92 | - | | 平成22 | | | | | | | |
| 社会共生学部 | 4 | 195 | 3年次 2 | 784 | | 0.94 | - | 0.90 | - | | 令和2 | | | | | | | |
| 公共政策学科 | 4 | 130 | - | 520 | 学士(公共政策学) | 0.91 | - | 0.89 | - | | 令和2 | | | | | | | |
| 社会福祉学科 | 4 | 65 | 2 | 264 | 学士(社会福祉学) | 0.97 | - | 0.93 | - | | 令和2 | | | | | | | |
| 人間学部 | 4 | - | 3年次 - | - | | - | - | - | - | | 平成5 | | ※令和2年度より学生募集停止 (社会福祉学科、人間環境学科、 教育人間学科) | | | | | |
| 社会福祉学科 | 4 | - | - | - | 学士(社会福祉学) | - | - | - | - | | 平成5 | | | | | | | |
| 人間環境学科 | 4 | - | - | - | 学士(人間環境学) | - | - | - | - | | 平成23 | | | | | | | |
| 教育人間学科 | 4 | - | - | - | 学士(教育人間学) | - | - | - | - | | 平成23 | | | | | | | |
| 心理社会学部 | 4 | 230 | 3年次 4 | 928 | | 1.15 | - | 1.16 | - | | 平成28 | | | | | | | |
| 人間科学科 | 4 | 120 | 2 | 484 | 学士(人間科学) | 1.06 | - | 1.07 | - | | 平成28 | | | | | | | |
| 臨床心理学科 | 4 | 110 | 2 | 444 | 学士(臨床心理学) | 1.23 | - | 1.26 | - | | 平成28 | | | | | | | |
| 文学部 | 4 | 295 | 3年次 6 | 1192 | | 1.11 | - | 1.09 | - | | 平成15 | | | | | | | |
| 人文学科 | 4 | 65 | 2 | 265 | 学士(人文学) | 1.12 | - | 1.13 | - | | 平成22 | | | | | | | |
| 日本文学科 | 4 | 70 | 2 | 282 | 学士(日本文学) | 1.14 | - | 1.14 | - | | 平成27 | | | | | | | |
| 歴史学科 | 4 | 160 | 2 | 645 | 学士(歴史学) | 1.06 | - | 1.06 | - | | 平成15 | | | | | | | |
| 表現学部 | 4 | 205 | 3年次 - | 820 | | 1.11 | - | 1.12 | - | | 平成22 | | | | | | | |
| 表現文化学科 | 4 | 205 | - | 820 | 学士(表現文化) | 1.11 | - | 1.12 | - | | 平成22 | | | | | | | |
| 地域創生学部 | 4 | 100 | 3年次 - | 400 | | 0.96 | - | 0.99 | - | | 平成28 | | | | | | | |
| 地域創生学科 | 4 | 100 | - | 400 | 学士(経済学) | 0.96 | - | 0.99 | - | | 平成28 | | | | | | | |

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。（様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。）
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率（控除後）」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率（控除後含む）」及び「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず本字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

| 区 分 | 附 帯 事 項 等 | 履 行 状 況 | 今後の の実施計画 |
|--------------------------------|-----------|---------|--------------|
| 認 可 時 (令和元年) | 該当なし | | |
| 認 可 時 (令和2年) | 該当なし | | |
| 設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和3年度) | 該当なし | | |
| 設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年度) | 該当なし | | |
| 設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和5年度) | | | |
| | | | |

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。

【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。

その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<社会共生物学部 社会福祉学科>

(1) 設置計画変更事項等

| 設置時の計画 | 変更内容・状況、今後の見通しなど |
|--|---|
| <p>① 修了要件単位数 第Ⅰ類科目26単位以上、第Ⅱ類110単位以上必修、計136単位以上修得すること。（履修科目の登録の上限：12単位（1クォーター））</p> | <p>① 修了要件単位数 令和2年度「知識集約型社会を支える人材育成事業」の採択に伴い、高学年次での履修を前提に全額共通科目（第Ⅲ類科目）を取り入れることとなったため、第Ⅰ類科目は30単位となった。</p> |

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

| |
|---|
| <p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>(1) 総合学修支援機構DAC</p> <p>(2) 障がい学生支援部会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>(1)FD委員会 開催日: 令和4年 4/13,4/28,5/11,5/31,6/9,6/21,7/20,8/29,9/29,10/19,11/11,12/8 令和5年 2/14,2/27,3/20</p> <p>(2) 障がい学生支援部会 実施日: 第1回 令和4年4月13日（水） 出席者数：12名 第2回 令和4年5月18日（水） 出席者数：12名 第3回 令和4年6月15日（水） 出席者数：11名 第4回 令和4年7月6日（水） 出席者数：12名 第5回 令和4年9月7日（水） 出席者数：12名 第6回 令和4年10月5日（水） 出席者数：12名 第7回 令和4年11月2日（水） 出席者数：12名 第8回 令和4年12月14日（水） 出席者数：12名 第9回 令和5年1月11日（水） 出席者数：12名 第10回 令和5年2月8日（水） 出席者数：12名 第11回 令和5年3月8日（水） 出席者数：12名</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>(1) 教育改善のためのファカルティ・ディベロップメント（FD）の推進</p> <p>(2) 障がい有する学生の支援に関する事項</p> |
|---|

② 実施状況

a 実施内容

- (1) 1. 第13回全学FDセミナー「理論×実践のハイブリッド教育とは」
2. 第14回全学FDセミナー「進路を見据えた学生記録の蓄積と支援 -LMSの有機的活用を通して-」
3. カリキュラムアセスメントチェックリストを活用した評価報告会
4. 役職者研修
5. 授業実践研修
6. 新任教員FDプログラム（授業設計・教授法、教学マネジメント・学修支援体制、研究支援等）
- (2) 障がい学生支援部会 講演会

b 実施方法

- (1) 1. 対面（グループワーク）
2. 対面（グループワーク）
3. 対面（グループワーク）
4. 対面
5. オンデマンド及び対面（グループワーク）
6. オンデマンド・対面による外部講師の講演・ワークショップの他、大学執行部・各種支援担当部署からのレクチャー
- (2) 対面、録画配信

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- (1) 1. 第13回全学FDセミナー「理論×実践のハイブリッド教育とは」
令和4年6月29日（水）15:00～17:30 141名
2. 第14回全学セミナー「進路を見据えた学生記録の蓄積と支援 -LMSの有機的活用を通して-」
令和4年11月23日（水）15:00～17:30 132名
※欠席者はオンデマンド視聴
3. カリキュラムアセスメントチェックリストを活用した評価報告会
令和4年5月18日（水）16:00～17:10 49名
4. 役職者研修
令和4年6月8日（水）15:50～16:30 42名
5. 授業実践研修
令和4年8月24日（水）13:30～15:10 12名
6. 新任教員FDプログラム 対象者：13名
 - ・「新任教員事前FD研修会」（対面）
令和4年3月24日（木）10:00～17:30/3月25日（金）10:00～16:15
 - ・「授業支援・学修支援に関する研修」（対面）
令和4年4月20日（水）15:10～16:50
 - ・「大正学生の特徴に関する研修」（オンデマンド）
令和4年4月20日（水）配信
 - ・「授業見学」（対面）
令和4年4月7日（木）～令和4年7月25日（月）
 - ・「障がい学生支援・教学マネジメントに関する研修」（オンデマンド）
令和4年4月29日（金）配信
 - ・「入試・学生募集に関する研修」（オンデマンド）
令和4年6月21日（火）配信
 - ・「知識集約型を支える人材育成事業に関する研修」（オンデマンド）
令和4年10月18日（火）配信
 - ・「就職活動支援に関する研修」（オンデマンド）
令和4年12月7日（水）配信
 - ・「研究倫理に関する研修」（オンデマンド）
令和5年3月14日（火）配信
 - ・「最終研修」（対面）
令和5年3月2日（木）12:30～17:05
- (2) 障がい学生支援部会 講演会
令和4年9月14日（水）10:00～12:00
参加人数：対面42名、オンライン67名 合計109名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

(1) 本学の建学の理念を、自身の授業および学科の学びと具体的に結び付け、学科の教育の特徴について各教員が共通認識し、授業運営の検討をおこなった。また、学生の希望進路を実現するためのLMSを活用した学修支援について検討をおこなった。

(2) 全教職員より参加者を募り、講演会を開催した。
講演会では障害者差別解消法における「合理的配慮」をテーマとして、障害種別ごとの対応事例も交えながら、教育上の注意点と建設的対話の必要性について検討した。
また、講演会の中で、障害とは社会的障壁であり、それを取り除くための「合理的配慮」とは、障害のない者との比較において同等の機会を提供すること、事務や事業の目的・内容・機能の本質的な変更には及ばないということ等が共有され、講演会後に実施したアンケートでも多くの新しい気づきや業務改善につながるというコメントがあった。
上記が授業改善・学生生活改善のための対応指針の策定に繋がると見ている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

本学における学生による授業評価アンケートは、組織的なFD活動の一環として実施。このアンケートは PDCAサイクルのCheck部分にあたり、授業毎の具体的な効果や問題点を把握し、教育改善に役立てていくことを目的とする。

(実施期間)

- 第1クォーター：2022年5月19日（木）～6月1日（水）
- 第2クォーター/春学期：2022年7月12日（火）～7月25日（月）
- 第3クォーター：2022年10月31日（月）～11月12日（土）
- 第4クォーター/秋学期：2023年1月7日（土）～1月23日（月）

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート用回答サイトの作成作業および回答データの集計を委託事業者が行う。集計結果は教員配付用資料として、委託事業者より各教員へ郵送するとともに、冊子にまとめて教員に配信している。

授業評価アンケート検討会において実際の教育活動に資する具体的なフィードバック方法の検討や、次年度実施に向けての改善点に関する検討が行われている。

学生をはじめとした社会への公開については、本アンケートの趣旨、実施要項、調査票を明示したうえ、ホームページにおいて集計結果を公表している。なお、学生には、学習ポータルサイト（T-po）における周知・連絡も実施している。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

人間学部の改組を行い、社会共生物学部を設置する。大学の理念・目的に照らしながら、人間学部において設定していた目的や養成する人材像を、昨今の社会構造の変化や求めに則した目的に刷新し、社会共生の理念の下で社会や地域が抱える諸課題を解決に導く人材を育成する予定である。社会共生物学部は、社会や地域におけるさまざまな公共的課題を解決するための方法や技術を学ぶ公共政策学科と、医療・福祉・教育など幅広い分野で支援を必要としている人の相談・援助を行うソーシャルワーカー（社会福祉士、精神保健福祉士）を養成する社会福祉学科の2学科として、上記理念を踏まえた募集活動を行い、公共政策学科は127名の学生を受け入れた。本学科が目指す人材育成像と教育目標が、受験生に評価された結果であると考えている。今後は、届出時の教育内容を確実に履行し、上記の設置の趣旨・目的の達成を目指す。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和2年3月26日 公表

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公表（<https://www.tais.ac.jp/common/doc/guide/estimation/jikotenken-2019.pdf>）。
- ・大学自己点検・評価委員会及びメールによる事務連絡（全教職員対象）において公表を周知。

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和2年に評価機関（大学基準協会）の評価を受審し、令和2年3月27日に評価資料を提出した。
- ・令和9年に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

- a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

- b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

- c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

- d 公表しない理由 [()]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。